



第43回
全国

豊かな海づくり大会

～おんせん県おおいた大会～



おおいた



つなぐバトン 豊かな海を 次世代へ

実績報告書

第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会



実績報告書

本 編

大会概要	4
式典行事	9
海上歓迎・放流行事	29
お手渡し魚等の記念放流	38
作品コンクール(絵画・習字)優秀作品御覧	39
漁業関係者との御懇談	40
関連行事	41

大会開催のあゆみ

大会開催経過	46
大会テーマ、ロゴマーク	49
大会コスチュームデザイン、大会記念弁当	50
1年前イベント「おおいた海博」	51
100日前イベント	52
リレー放流	53
広報活動等	56
ラジオ・テレビ番組	65
大会PR動画	66
大会公式ポスター	67

資 料 編

功績団体表彰	70
作品コンクール	71
新聞報道	80
広報制作物等	86
協賛・協力団体等	90
規約・組織	91



第43回
全国

豊かな海づくり大会

～おんせん県おおいた大会～

本編

大会概要

- **大会名称** 第43回全国豊かな海づくり大会 ～おんせん県おおいた大会～
- **主催** 豊かな海づくり大会推進委員会
第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会
- **後援** 農林水産省、環境省
- **開催日** 令和6年11月9日(土)・10日(日)
- **開催場所** 式典行事…………… iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ(大分市)
海上歓迎・放流行事… 別府港第4埠頭(別府市)
関連行事…………… 豊かな海づくりフェスタ トヨタカローラ大分 祝祭の広場等(大分市)
サテライト会場(2会場) 松浦漁港(佐伯市)、小祝漁港(中津市)
- **参加者数** 式典行事…………… 867人
海上歓迎・放流行事… 324人
関連行事…………… 55,774人(3会場合計)
- **大会テーマ** 「つなぐバトン 豊かな海を 次世代へ」

■ 大会ロゴマーク・コスチュームデザイン

「第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～」の開催趣旨にふさわしいデザインを公募により決定

ロゴマーク



コスチュームデザイン



大分県応援団“鳥”「めじろん」

めじろんは、平成16年に、第63回国民体育大会「チャレンジ!おおいた国体」、第8回全国障害者スポーツ大会「チャレンジ!おおいた大会」のマスコットとして、大分県の県鳥である「メジロ」をモチーフにデザインされたキャラクターです。
大会終了後、大分県応援団“鳥”に就任し、県行政の広報・PR活動に活躍しています。



(基本形)

開催の意義

大分県は、豊予海峡を境として北は瀬戸内海、南は豊後水道に面し、九州本土最高峰の中岳を含むくじゅう連山や、温泉の源泉数・湧出量が日本一の「おんせん県」であるなど、豊かな自然環境に恵まれています。

瀬戸内海沿岸は、豊前海や別府湾、豊後灘など多様な漁場で構成され、小型底びき網や刺し網、船びき網などを主体として、エビ類、マダイ、サワラ、シラスなどを水揚げしているほか、干潟域や内湾を利用したカキ養殖も盛んです。

一方、豊後水道では、まき網や定置網、一本釣りなどを主体として、アジやサバ、イワシなどを水揚げするとともに、静穏域が多い海岸地形を利用して、生産量全国1位のヒラメ、2位のブリをはじめとして、クロマグロ、シマアジなどの魚類養殖業や貝類養殖業も盛んに行われています。

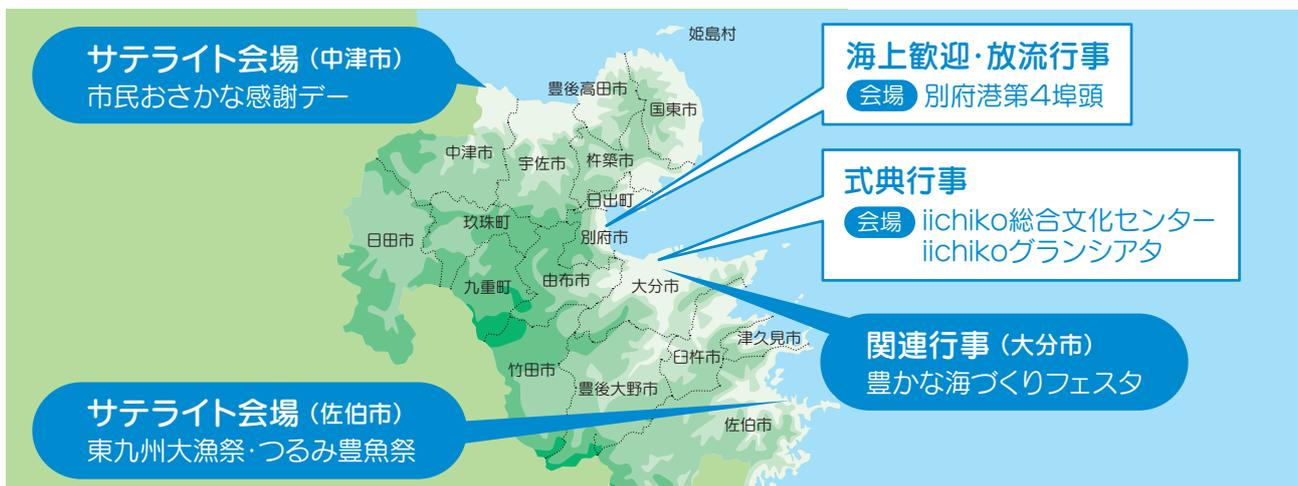
内水面では、九州で漁獲量1位のアユをはじめとした河川漁業のほか、ドジョウやスッポンなどの養殖業も営まれています。

さらに、全国の高級ブランド魚の先駆けである「関あじ・関さば」をはじめ、「城下かれい」、「姫島車えび」、「かぼすブリ」、「かぼすヒラメ」などの魅力あるブランド水産物が多く存在し、複雑な海岸線により地域ごとに多様な水産物が水揚げされています。

地域の特徴に根ざした多種多様な漁業は、四季折々の豊かな水産物を県内外に供給するとともに、水産加工品の原料や、観光資源としての利用など、本県の産業振興に重要な役割を果たしています。

「全国豊かな海づくり大会」の第1回大会は、昭和56年に本県の鶴見町（現：佐伯市鶴見）で開催されました。大会を契機として、漁業関係者が一丸となり栽培漁業の推進や小型魚の漁獲規制、県下一斉休漁日の設定、環境に配慮した養殖業の振興などの取組が行われ、現在も発展的に継続されています。一方で、水産資源の減少に伴う担い手の減少や地球温暖化による海洋環境の変化、消費者の魚離れなど水産業を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。

本大会では、第1回大会の開催県として豊かな海を次世代へつないでいくため、本県の漁業関係者のこれまでの努力とこれからの挑戦を全国に発信し、水産業についての理解と関心をより一層深め、つくり育てる漁業をさらに推進していくことに加え、環境保全の重要性や水産物の消費拡大に向けて本県の多様な水産物の味力（みりょく）、「おんせん県おおいた」の新たな魅力を県内外に広く発信していきます。



基本理念

大分県の豊かな海や川を次代へ引き継いでいくため、つくり育てる漁業に一層取り組むとともに、それらを育む自然環境を守っていくことの重要性を県内外へ広く訴えかけます。

また、四季折々の味力あふれる多様な水産物に加え、「おんせん県おおいた」の新たな魅力を全国へ広く発信していきます。

基本方針

1 水産資源の保護と管理の一層の推進

水産資源の維持・増大を図り、「生産者の挑戦と努力が報われる漁業」の実現に向け、令和6年度にリニューアルした大分県漁業公社を核に、つくり育てる漁業をさらに推進します。

2 森から川、海へとつながる豊かな自然環境の保全

森から川へ、川から海へとつながる自然環境や藻場造成などによる良好な沿岸環境の保全とともに、近年、国際的に大きな問題となっている海洋プラスチックごみや地球温暖化などの環境問題に取り組むことの重要性について県内外へ広く訴えかけることで、本県の豊かな海や川を次代に引き継いでいきます。

3 四季折々の多様な水産物の消費拡大

「関あじ・関さば」、「城下かれい」、「かぼすぶり」、「姫島車えび」などのブランド水産物をはじめ、本県の海や川で育まれた四季折々の多様な水産物の味力を県内外へ発信し、消費拡大を図ります。

4 おんせん県の新たな魅力を全国に発信

日本唯一の海上交通であるホーバークラフトの復活など本県では地域の活性化に向けた新たな取組を次々と展開しており、おんせん県の新たな魅力を全国に発信する大会とします。

会場地図



大会概要

参加者

行事名	会場	人数	内訳
式典行事	iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ	867人	県内 320人 県外 547人
海上歓迎・放流行事	別府港第4埠頭	324人	県内 163人 県外 161人
関連行事	豊かな海づくりフェスタ(大分市) サテライト会場(佐伯市) サテライト会場(中津市)	55,774人	9日 20,502人 10日 35,272人
合計		56,965人	—

出演者

◎式典行事

区分		団体名等
全体	司会進行	小笠原 正典(TOSテレビ大分) 田中 愛佳(TOSテレビ大分)
	ナビゲーター	KEIKO&マーク・パンサー(globe)
	プロローグ	バトン演技 私立大分東明高等学校バトントワリング部 神楽演技 大分県立由布高等学校郷土芸能部
式典	全体	式典補助員 大分県立大分西高等学校
		式典音楽隊 iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ
	功績団体表彰	大会会長賞受賞者代表 大分県漁業協同組合別府湾地区4支店(大分・別府・杵築・日出) 豊島 功
		農林水産大臣賞受賞者代表 赤須賀漁業協同組合(三重県) 水谷 隆行
		環境大臣賞受賞者代表 銚子市漁業協同組合小型底曳部会(千葉県) 小畑 輝明
		水産庁長官賞受賞者代表 杵崎市磯焼け対策協議会(長崎県) 篠原 一生
	作品コンクール表彰	大分県知事賞受賞者 大分市立穂田中学校3年 前田 百花
	最優秀作文の発表	発表者 大分市立大道小学校2年 中園 瑛斗
	大会旗入場	先導(鼓笛隊) 私立千代町幼稚園
		旗手団 大分県立海洋科学高等学校
	稚魚等のお手渡し	お受け者 大分県漁業協同組合鶴見地区漁業副運営委員長 神崎 隆実 大分県漁業協同組合東国東地区漁業運営委員長会会長 近乗 美信 大分県漁業協同組合保戸島地区漁業運営委員長 三木 節夫 大分県漁業協同組合中津地区漁業運営委員長 田中 浩二
		介添え 大分県立大分西高等学校
	海づくりメッセージ	漁船漁業 大分県漁業協同組合青年部長 山田 和幸・山田 あゆみ夫妻
		養殖業 大分県水産養殖協議会青年部会副会長 山田 博一
		環境保全活動 特定非営利活動法人水辺に遊ぶ会理事長 足利 慶聖
魚食普及活動 大分県漁業協同組合女性部にさき支部長 末廣 奈津子		
エピローグ	表彰式 功績団体表彰受賞者 作品コンクール受賞者	
	芸能披露 関の鯛つり唄・おどり保存会、大分市立佐賀関中学校、 貴美千佳の会(きみちかのかい)	
	合唱 津久見榎の実少年少女合唱団	

大会概要

◎海上歓迎・放流行事

区 分		団体名等	
海上歓迎・放流行事	全体	司会進行	藤村 晃輝(TOSテレビ大分)
			和田 綾香(TOSテレビ大分)
	漁船団パレード	大分県漁業協同組合(安岐・杵築・日出・別府・大分)	
	漁法紹介	機船船びき網漁業	第五十五末廣丸
			第1末廣丸
			第2末廣丸
		小型機船底びき網漁業	栄進丸
		一本釣り漁業	晴喜丸
		刺し網漁業	第八十八太幸丸
		ごち網漁業	第十一豊漁丸
		もじゃこ漁業	第二十八天洋丸
		大分県漁業調査船	豊洋
	大分県漁業取締船	はつかぜ	
	音楽演奏	吹奏楽	大分県立別府翔青高等学校
和太鼓		豊後潮太鼓	
御放流介添え・お手拭き		大分県立海洋科学高等学校	
放流合図	別府市立春木川小学校		
	佐伯市立松浦小学校		

◎おもてなし協力団体

内 容	団体名等
おもてなし	公益社団法人日本ボーイスカウト大分県連盟
	公益社団法人ガールスカウト大分県連盟
	公益財団法人漁船海難遺児育英会
企画展示	大分市商工労働観光部おおいた魅力発信局
	大分県企画振興部交通政策企画課
	大分県農林水産部漁業管理課
	大分県農林水産部水産振興課
	大分県農林水産研究指導センター水産研究部
	大分県南部振興局農山漁村振興部
	公益社団法人大分県漁業公社
	株式会社やまろ渡邊
	株式会社大分うにファーム
	日本製鉄株式会社

◎スタッフ

区 分	11月9日	11月10日	延 べ
大分県	671人	825人	1,496人
大分市	59人	77人	136人
別府市	5人	18人	23人
佐伯市	1人	22人	23人
大分県漁業協同組合	7人	12人	19人
合計	743人	954人	1,697人

式典行事

概要

令和6年11月10日(日)、iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ(大分市)において、天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、全国各地から招待者など867名が参加し、式典行事を執り行いました。

進行表

時間	プログラム・次第	内容・出演者等
8:00	開場	各種案内、大分県PR映像など
プロローグ～ご案内・奉迎準備		
9:35	プロローグ	第1章 第1回大会から受け継がれる大分県のつくり育てる漁業 第2章 つくり育てる漁業の新たな挑戦 第3章 未来へバトンをつなぐために ナビゲーター：KEIKO、マーク・バンサー 私立大分東明高等学校バトントワリング部／大分県立由布高等学校郷土芸能部
10:14	式典補助員・音楽隊等紹介	式典補助員：大分県立大分西高等学校 式典音楽隊：iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ
10:17	登壇者紹介	司会者より登壇者を紹介
式典行事		
10:26	天皇皇后両陛下御臨席	
	大会旗入場	鼓笛隊：私立千代町幼稚園 旗手団：大分県立海洋科学高等学校 受 取：大分県知事
	開会のことば	大分県漁業協同組合代表理事組合長
	国歌斉唱	
	主催者あいさつ	大会会長、大分県知事
	歓迎のことば	大分市長
	天皇陛下のおことば	
	表彰(功績団体等)	功績団体表彰受賞者代表、作品コンクール受賞者代表
	最優秀作文の発表	大会会長賞受賞者代表
	稚魚等のお手渡し	お受け者：神崎隆実、近乗美信、三木節夫、田中浩二 介 添 え：大分県立大分西高等学校
	海づくりメッセージ	豊かな海づくりに向けた活動実践者よりメッセージ 山田和幸・あゆみ、山田博一、足利慶聖、末廣奈津子
	大会決議	豊かな海づくり大会推進委員会会長
	大会旗引継ぎ・次期開催県あいさつ	大分県知事、三重県知事
	閉会のことば	大分県議会議長
	天皇皇后両陛下御退席	
受賞者紹介映像～エピローグ		
11:27	受賞者紹介映像	受賞者紹介映像を上映
11:33	休憩	
11:47	表彰式	功績団体表彰受賞者、作品コンクール受賞者
12:02	エピローグ	ナビゲーター：KEIKO、マーク・バンサー 関の鯛つり唄・おどり保存会 大分市立佐賀関中学校 貴美千佳の会 津久見榎の実青少年少女合唱団
12:20	終了	

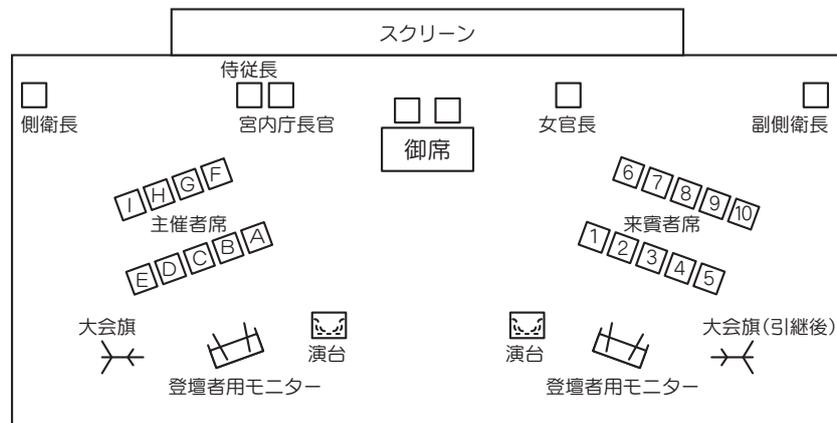
式典行事

式典行事会場

iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ



ステージ座席表



■主催者席

- A 大会会長(前衆議院議長)
- B 豊かな海づくり大会推進委員会会長
(全国漁業協同組合連合会代表理事会長)
- C 大分県知事
- D 大分市長
- E 別府市長
- F 大分県議会議長
- G 大分市議会議長
- H 別府市議会議長
- I 大分県漁業協同組合代表理事組合長

■来賓者席

- 1 農林水産大臣
- 2 環境大臣
- 3 水産庁長官
- 4 三重県知事
- 5 最優秀作文発表者
- 6 大会会長賞受賞者(功績団体)
- 7 農林水産大臣賞受賞者(功績団体)
- 8 環境大臣賞受賞者(功績団体)
- 9 水産庁長官賞受賞者(功績団体)
- 10 大分県知事賞受賞者(作品コンクール)

プロローグ

第1章 第1回大会から受け継がれる大分県をつくり育てる漁業



第1回大会の様子

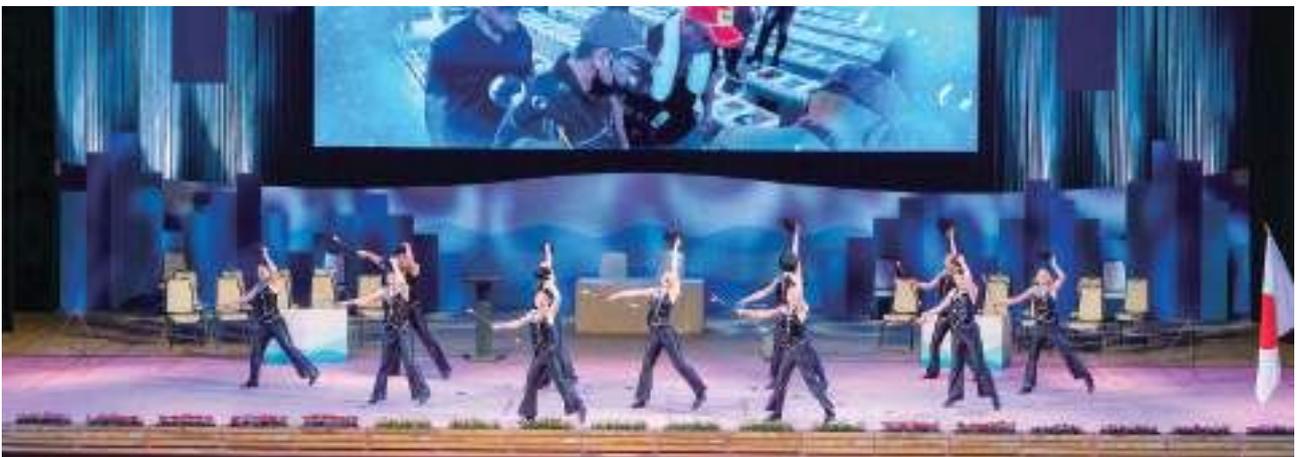
昭和56年に開催された第1回大会を振り返り、その後県内各地で進められたつくり育てる漁業や「関あじ・関さば」などの全国に先駆けた水産物のブランド化等の取組を映像で紹介しました。



平成5年から始まった県下一斉休漁日



全国に先駆けた意欲的な取組(ブランド化)



本県水産業の映像に合わせ、第1回大会にも出演した私立大分東明高等学校バトントワリング部が演技

第2章 つくり育てる漁業の新たな挑戦



KEIKOさん、マーク・バンサーさん(globe)

ナビゲーターのglobeのお二人も登場し、大分県の豊かな海を次世代へつないでいくための取組を紹介しました。

第2章では、リニューアルされた大分県種苗生産施設を核とした拠点放流による資源造成や、マーケットや環境変化に対応した養殖業への転換に取り組む漁業者たちの新たな挑戦の姿を、インタビューを交えて紹介しました。



マコガレイの拠点放流に取り組む別府湾の漁業者：中山公夫さん
資源回復への意気込みを語る



全国有数の養殖ブリ生産地、佐伯市入津湾の養殖業者：浪井大喜さん
ブランド化や産地加工による高付加価値化の大切さを語る

第3章 未来へバトンをつなぐために



県民による環境保全活動

未来へ豊かな海のバトンをつなぐため、本県では、漁業者だけではなく、県民総参加でこれからの豊かな海づくりに取り組んでいきます。

第3章では、その具体例を紹介するため、ナビゲーターのマーク・パンサーさんが県内各地で取り組まれている活動取材し、その重要性を伝えました。



高校生のアイデアによる藻場保全の取組



県内小学校での魚食普及活動



最後に大分県立由布高等学校郷土芸能部による、海の神への感謝の念が込められた神楽『貴見城』が披露されました。

式典行事

天皇皇后両陛下御臨席

式典音楽隊による演奏がはじまり、天皇皇后両陛下が式典会場に御入場されました。



式典行事

大会旗入場

私立千代町幼稚園の鼓笛隊の先導により、大分県立海洋科学高等学校の旗手団が入場し、旗手団長から大分県知事へ大会旗が手渡されました。



式典音楽隊:iichikoグランシyata・ジュニアオーケストラ



式典補助員・稚魚等のお手渡し介添え:大分県立大分西高等学校

式典行事

開会のことば

中根隆文大分県漁業協同組合代表理事組合長の「開会のことば」で式典が始まりました。



大分県漁業協同組合代表理事組合長
中根 隆文

主催者あいさつ

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、第43回全国豊かな海づくり大会が開催されるに当たり、主催者として一言御挨拶申し上げます。

はじめに、本年、全国各地で相次いだ地震、台風、豪雨などの自然災害に遭われた被災者の皆様へ心からお見舞い申し上げます。また、漁業関係者の方が生活されている沿岸部は、こうした自然災害の影響を受けやすく、それによる御苦難は察するに余りありますが、苦難を乗り越え、誇りを持って漁業活動に従事されている皆様に感謝申し上げます。

全国豊かな海づくり大会は、昭和56年に、ここ大分県から始まりました。広大な干潟を有する豊前海、深く入り組んだリアス海岸の豊後水道など、変化に富んだ好漁場から多種多様な水産物を生産するここ大分県において、43年ぶりに本大会を開催することができ、大変嬉しく思います。

我が国の水産業は、海洋環境の変化等による生産量の減少や就業者数の減少など、厳しい状況に直面しております。こうした中で、国としても科学的な知見に基づく資源管理等により、水産資源の維持・回復を図ることはもちろんですが、各地域においてもそれぞれの特色を生かした水産業の活性化を図ることが急務となっております。大分県におかれては、古くから地域物産のブランド化に熱心に取り組み、豊予海峡の「関あじ」、「関さば」、カボスを餌に混ぜて育てた「かぼすブリ」、「かぼすヒラメ」など、高級ブランド魚を世に出し、多くの人を魅了してきました。関係者の皆様の多大なる御努力に改めて敬意を表します。

また、県内において、新たな種苗生産施設が本年7月に完成し、閉鎖循環式システムや緑色LED光照射設備の新規導入により、生産能力を2割向上させたと伺いました。本日午後の放流行事では、この施設で育てられたマコガレイを放流いたします。

マコガレイは、海底から地下水が湧き、豊富な養分を含む日出沖では、肉厚の「城下かれい」に成長します。当地を訪れ、その味に感銘を受けた高浜虚子は、「海中に 真清水湧きて 魚育つ」との句を残しました。100年前の俳人も称賛した豊かな海を、次世代にしっかり継承できるよう、またその動きが全国に広がるよう、御臨席の皆様方の御尽力を切にお願いいたします。

結びに、本日栄えある表彰をお受けになる方々に対し、心より敬意を表しお慶びを申し上げますとともに、大会開催のため力を尽くしてこられた関係者の方々に厚く御礼を申し上げ、御挨拶といたします。



全国豊かな海づくり大会会長
前衆議院議長
額賀 福志郎

主催者あいさつ

本日、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、「第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～」を開催できますことは、私たち大分県民にとりまして、誠に光栄であり、この上ない喜びであります。

御来賓をはじめ、全国から御参加いただきました皆様を歓迎いたしますとともに、本日栄えある表彰を受けられる皆様に心からお祝い申し上げます。

本県は、豊予海峡を境として、北は瀬戸内海、南は太平洋の2つの海につながる豊後水道に面し、一本釣り漁業、小型底びき網漁業などの漁船漁業や、全国トップクラスの生産量を誇るブリ類やヒラメの養殖業など多様な漁業が盛んに営まれています。

また、九州本土最高峰の中岳を含むくじゅう連山や、県内各地で温泉が満喫できる、源泉数・湧出量ともに日本一の「おんせん県」であるなど、豊かな自然環境にも恵まれています。

全国豊かな海づくり大会の記念すべき第1回大会は、ここ大分県で開催されました。第1回大会の開催を契機に本県では種苗放流や小型魚の漁獲規制、県内一斉休漁日など「つくり育てる漁業」を積極的に実施し、40年以上が経過した現在も脈々と取組を続けています。一方で、新たな課題も生じています。水産資源の減少に加え、国内での水産物消費量の減少、そして海洋プラスチックごみなど世界的な環境問題です。

私たちは今大会のテーマを「つなぐバトン 豊かな海を 次世代へ」としました。

本大会を契機に、本県では新たな増殖モデルの導入による水産資源の増大や、多様化するマーケットや環境変化に対応した持続的な養殖産地づくりなど、「つくり育てる漁業」を一層進めてまいります。

さらに、水産物を食べて水産業を応援していくことや、森から川、海へとつながる自然環境を守り、活かしていく「これからの豊かな海づくり」を、県民総参加で取り組んでいくことで、先人から受け継いだこの恵み豊かな大分の海の「バトン」をしっかりと次世代へつなげてまいります。

結びに、天皇皇后両陛下の御健勝を心からお祈り申し上げますとともに、本日御参加の皆様の御多幸を祈念いたしまして、挨拶といたします。



大分県知事
佐藤 樹一郎

歓迎のことば

本日、ここに天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、「第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～」が大分市で開催されますことを、誠に光栄に存じますとともに、心から感謝申し上げます。

また、本大会にご参加いただきました皆様、ようこそ大分市へおいでくださいました。47万市民を代表して、歓迎を申し上げます。

さて、ここ大分市は、中世には戦国大名の大友宗麟により、海外との交易が積極的に進められ、南蛮文化がいち早く花開いた都市であり、日本で初めて西洋式外科手術が行われるなど、西洋医学や西洋音楽の発祥の地とされております。

二ホンザルの生息地として知られる「高崎山」や別府湾などの豊かな緑と海に囲まれ、九州と四国が最も接近する豊後水道の「速吸瀬戸^{はやすいのせと}」では、「関あじ・関さば」をはじめ、多種多様な水産資源の宝庫となっております。

私たちは、これまで多くの恩恵を与えてくれた豊かな海を守るためにあらゆる努力を払い、次世代へと引き継いでまいりたいと存じます。

結びに、天皇皇后両陛下の益々のご健勝を心からお祈り申し上げますとともに、本日で参加の皆様のご多幸を祈念いたしまして、歓迎の言葉といたします。



大分市長
足立 信也

天皇陛下のおことば



第43回全国豊かな海づくり大会が、ここ大分県で開催され、皆さんと共に出席できることをうれしく思います。

本大会は43年前、ここ大分県から始まりました。第1回大会は、「そだてよう 豊かな海を ふるさとを」をテーマに、現在の佐伯市にある松浦漁港で開催され、これを契機として、これまで全国の多くの関係者により、漁業振興や自然環境の保全活動が積極的に行われてきました。

ここ大分でも、資源管理と一体となった栽培漁業や、ブリやヒラメなどを始めとした魚類や貝類の養殖業の振興のほか、ブランド化に早くから取り組み、全国でも有数の水産物の生産地となっています。こうした取組を、長年にわたり続けてこられた皆さんの努力に深く敬意を表します。

現在、大分県では、この豊かな海を次の世代に引き継いでいくため、最新の生産施設を導入し、漁場環境の整備と稚魚の育成に適した場所への集中放流を一体的に行うことで、より効果的な栽培漁業に取り組んでいると聞いています。また、養殖業では市場環境の変化に対応できる持続的な産地づくりを目指しているほか、水産物の消費拡大や、豊かな自然環境の保全活動など、県民の皆さんによる様々な取組が行われていると聞いています。

地球温暖化や海洋プラスチックごみの問題など、国際的な課題も生じている中で、漁業関係者の皆さんの御苦労も多いことと思います。

「つなぐバトン 豊かな海を 次世代へ」をテーマに、大会始まりの地で行われる今回の大会を契機として、全国各地において取り組まれてきた豊かな海づくりの活動に、皆さんの英知と努力を再び結集し、更に発展させていくことを期待します。そして、人々の海や水産業への関心と理解がより深まり、豊かな海づくりの輪が、ここ大分の地から全国へ、そして未来に向けて大きく広がっていくことを願い、私の挨拶といたします。

式典行事

表彰

功績団体表彰受賞者(栽培漁業部門、資源管理型漁業部門、漁場・環境保全部門)及び作品コンクール受賞者(作文、絵画、習字)の表彰式を行いました。



◎功績団体表彰受賞者代表

- 大会会長賞 : 大分県漁業協同組合別府湾地区4支店(大分・別府・杵築・日出)【栽培漁業部門】
- 農林水産大臣賞 : 赤須賀漁業協同組合(三重県)【栽培漁業部門】
- 環境大臣賞 : 銚子市漁業協同組合小型底曳部会(千葉県)【資源管理型漁業部門】
- 水産庁長官賞 : 壱岐市磯焼け対策協議会(長崎県)【漁場・環境保全部門】

◎作品コンクール受賞者代表

- 大分県知事賞 : 大分市立植田中学校3年 前田 百花【絵画】

最優秀作文の発表

「ぼくたちの海をまもろう」 (全文はP73に掲載)



大分市立大道小学校2年
中園 瑛斗

稚魚等のお手渡し



天皇皇后両陛下が稚魚等をお受け者にお手渡しされました。



【第1回お手渡し】

天皇陛下がイサキを大分県漁業協同組合鶴見地区漁業副運営委員長の神崎隆実さんに、皇后陛下がキジハタを大分県漁業協同組合東国東地区漁業運営委員長会長の近乗美信さんにお手渡しされました。



【第2回お手渡し】

天皇陛下がカジメを大分県漁業協同組合保戸島地区漁業運営委員長の三木節夫さんに、皇后陛下がアサリを大分県漁業協同組合中津地区漁業運営委員長の田中浩二さんにお手渡しされました。



お手渡し魚等

イサキ



主に豊後水道域で漁獲され、一本釣り漁業や定置網漁業などで漁獲されます。県内で年間およそ50万尾の種苗が放流されており、全長制限による資源管理の取り組みが行われています。

※写真提供：佐伯市

キジハタ



大分県の地方名では「アコウ」と呼ばれ、高級魚として扱われています。放流場所付近での定着性が強いことから、放流対象種として有望とされています。

※写真提供：佐伯市

カジメ



県内では「くろめ」と呼ばれ、食用として豊後水道北部域で漁獲されます。食害生物の除去や母藻設置などにより、県内各地でカジメをはじめとして海藻や海草の保全活動が行われています。近年、温室効果ガスの吸収源としてブルーカーボン生態系への注目が高まっています。

アサリ



潮干狩りの対象種として古くから親しまれ、1980年代には本県のアサリ漁獲量は日本一を誇っていました。1986年以降、本県のアサリ資源は大きく減少しており、資源回復に向けて各地で増殖活動が行われています。

お手渡し容器

お手渡し容器は、大分県の伝統的工芸品である別府竹細工を用いて、別府竹製品協同組合の皆様にご制作いただきました。別府竹細工には200種類以上の編み方があり、容器底部には、網み目が美しく、軽量で丈夫な「六ツ目編み」の技法を用いています。また、容器の蓋には、隙間なく竹を編み込み、精巧で頑丈な「六ツ目抜き」の技法を用いています。



イサキ



キジハタ



カジメ



アサリ

海づくりメッセージ

県内の漁業者・環境保全活動者が登壇し、豊かな海を次世代へ引き継いでいく決意を力強く宣言しました。



山田 和幸・あゆみ夫妻
大分県漁業協同組合
青年部長

山田和幸: 私たちがつなぐバトンは「豊かな海と漁師の誇り」です。

私は30歳の節目に漁師になろうと決め、妻と豊前海をのぞむ宇佐市に戻りました。4代目の漁師として家業の底びき網漁を中心に生計を立てています。

漁師という仕事は一言でいうと「かっこいい」んです。自然を読み、自然に耐えながら、海と向き合います。自然を相手に素の自分で立ち向かうことは、漁師の誇りといえます。一攫千金とはなかなかいきませんが、大漁の日は家族で喜びを分かち合います。

山田あゆみ: 夫が漁師になったことをきっかけに地元の水産会社で働き始めました。水産業に関わるのは初めてのことでしたが、取り巻く環境が、年々厳しさを増していると感じます。豊かな海を残していかなければならないと実感するようになりました。

山田和幸: そのためには一方的に奪うのではなく、海の恵みをもたらしたら、海が喜ぶものを返すことが必要です。青年部の仲間と、資源の保護や漁場環境のためにできることを、より積極的に取り組んでいきます。

私たちには3人の子供がいます。豊かな海で誇りを持って働く漁師が次世代にも続くよう、これからも夫婦で、そして仲間と力を合わせていきます。



山田 博一
大分県水産養殖協議会
青年部会副会長

私がつなぐバトンは「未来にわたって続くブリ養殖」です。私はブリ養殖を行う漁師の3代目として佐伯市で育ちました。家族や地域で培った養殖技術で、ブリの品質は誰にも負けないという自負があります。

しかし飼料価格の高騰や海水温の上昇など、ブリ養殖を取り巻く環境は年々厳しいものになっています。

そんな中でも私が養殖を営む入津湾では、各漁師がエサの配合などに工夫を凝らしたり、ブランドブリの開発をしたりと、高品質なブリの生産に切磋琢磨しています。協力しながらも互いに競い合うことで、地域全体でブリの養殖技術が日々向上している実感があります。

自慢のブリを国内はもちろん、海外の消費者にも届けたいと思っています。これからも多様化する消費者のニーズや環境の変化に対応しながら、入津湾の養殖業を未来につなげていきます。



足利 慶聖
特定非営利活動法人
水辺に遊ぶ会理事長

私がつなぐバトンは「豊かな自然を未来に」です。
私は中津市を中心にNPO法人「水辺に遊ぶ会」で25年間活動してきました。
会のスローガンは「生きもの元気、子どもも元気、漁師さんも元気な中津干潟を100年後も…」。

干潟の生きもの観察会や、漁師さんとともに行う漁業体験など、地域の人に海に親しんでもらうための取組を行っています。ほんの数十年前まで、人の生活と海は密着していました。ここにお集まりの皆さんも感じていると思いますが、今では海に足を運ぶこともなくなり、海のことを考えることもなくなりました。私は会の活動を通じて、もう一度、海と人との心の距離を近づけたいと思っています。

世界の湿地を保全するラムサール条約では、干潟を上手に活用しながら、人が豊かに暮らすことが謳われています。

市民の皆さんと協力しながら中津干潟をラムサール条約に登録し、豊かな海と人の暮らしを100年先までつなぐことが、私の目標です。



末廣 奈津子
大分県漁業協同組合
女性部くにさき支部長

私がつなぐバトンは「魚を楽しむ食卓」です。

私は国東で漁師として夫と一緒にタコやサワラ漁をしています。けれども漁一本で生計を立てていくことが年々難しくなってきたと感じています。

そんな状況を打破するには、まずは魚に興味を持ってもらうことが必要だと考えています。

皆さん、美味しいタコの茹で方を知っていますか？私はタコの茹で方なら誰にも負けなくらい研究を重ねてきました。お魚料理教室や販売イベントを通して、そんな魚の美味しさや命がけとる漁業の大変さを伝え、魚の価値を知ってもらうことで消費の拡大につなげたいと思っています。

また、実際に消費者と触れ合うことで美味しい魚へのニーズがあることも実感しました。

魚食普及に取り組むことが、厳しい環境を生き抜くために私が出した1つの答えです。

私には3人の息子がいます。将来の選択肢に「漁師」という職業を加えてもらえるよう、自分ができることにこれからも取り組んでいきます。

誓いのことば「つなぐバトン 豊かな海を 次世代へ」



式典行事

大会決議

四方を海に囲まれた日本は、古より津々浦々からもたらされる海の幸を享受し、世界に誇る魚食文化を築いてきた。

ここ大分県は、北は瀬戸内海、南は豊後水道に面し、広大な干潟やリアス海岸からなる豊かな漁場で育まれた多種多様な魚介類を生産するとともに、全国に先駆けてブランド魚を展開するなど、地域の特性を活かして水産業を発展させてきた。

私たち水産関係者は、近年の急激な海洋環境の変化に対応しつつ、資源管理や藻場・干潟の保全等環境回復の取組を通じて、水産食料の安定供給の役割を果たす責務がある。

本年は、全国豊かな海づくり大会発祥の地であるここ大分県において、「つなぐ バトン 豊かな海を 次世代へ」を合言葉に、つくり育てる漁業に一層取り組むとともに、森・川・海のつながりの重要性を再認識し、決意を新たに豊穰の海を次世代に引き継いでいくことを、ここに決議する。



豊かな海づくり大会
推進委員会会長
全国漁業協同組合連合会
代表理事会長
坂本 雅信

大会旗引継ぎ

佐藤樹一郎大分県知事から一見勝之三重県知事に大会旗を引き継ぎました。



次期開催県あいさつ

本日、天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、第43回全国豊かな海づくり大会大分大会が盛大に開催されましたことを、心からお喜び申し上げます。

次回の開催県となる三重県は、南北1千キロを超える全国第8位の海岸線を有し、多種多様な水産業が営まれ、資源管理や栽培漁業、藻場・干潟の再生等の活動も盛んです。

三重県民の宝である水産資源を守り育て、豊かな海を次の世代に継承していくため、「受け継ごう 命あふれる 清い海」を大会テーマとして、その思いを全国に発信してまいります。

伊勢神宮が鎮座まします三重の地は、日本最古の歴史書、日本書紀において、「美し国」、すなわち、海・山の食材に恵まれた自然豊かで美しい地域とされ、古くから東海道や熊野、伊勢の諸街道を通じ、人、物、情報の交流が盛んに行われてきました。

来年の美し国みえ大会には、ぜひ多くの皆様にお越しいただき、伊勢えび、あわび、伊勢まだい、伊勢茶や松阪牛などの豊かな食と、多彩な歴史や文化の魅力を楽しんでいただきたいと思います。

結びに、天皇皇后両陛下の弥栄を心からお祈り申し上げますとともに、御列席の皆様の御多幸を祈念いたしまして、挨拶といたします。



三重県知事
一見 勝之

式典行事

閉会のことば

嶋幸一大分県議会議長の「閉会のことば」で式典が終了しました。



大分県議会議長
嶋 幸一

表彰式

式典終了後、尾野賢治大分県副知事から功績団体表彰受賞者と作品コンクール受賞者へ賞状の授与を行いました。



あいさつ

本日は、県内外からこのように多くの方々に、式典行事にご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、ただいま功績団体並びに作品コンクールの各賞を受賞された皆様、誠におめでとうございます。皆様方の今後一層のご活躍を心から願っております。

さて、式典行事もあとはエピローグを残すのみとなりました。午後からは、別府市の別府港第4埠頭におきまして、海上歓迎・放流行事を開催することにしております。約50隻の漁船による海上パレードを実施するとともに、第1回大会の開催地である佐伯会場と中継を行い、マコガレイとマダイの稚魚を2会場で同時に放流します。

また、ここ大分市の大分駅周辺では、本県の豊かな海で育った魚を食べていただくことや貝殻を使った工作体験など、楽しみながら学んでいただく関連行事を開催しております。海上歓迎・放流行事の模様もスクリーンでご覧いただけますので、お急ぎでない方はお寄りいただけたらと思います。

結びに、本大会の開催にあたりまして、お力添え、ご尽力を賜りました関係者の皆様にご心から厚くお礼を申し上げますとともに、本日で列席の皆様方のご多幸を祈念申し上げます。私からのあいさつといたします。本日は誠にありがとうございました。



大分県副知事
尾野 賢治

式典行事

エピローグ

全国の参加者に向けたエールの気持ちを込めた歌と踊りを披露しました。



『関の鯛つり唄』…大分市佐賀関に伝わる江戸時代から漁師の間で歌い継がれた唄
関の鯛つり唄・おどり保存会／大分市立佐賀関中学校／貴美千佳の会



『瑠璃色の地球』合唱 津久見樫の実青少年少女合唱団

フィナーレでは、ナビゲーター、式典補助員・介添えを務めた大分県立大分西高等学校、旗手団を務めた大分県立海洋科学高等学校の皆さんが再び登場し、盛大な拍手の中、閉幕しました。



式典行事

おもてなしコーナー

会場において大分銘菓、ドリンクの配布や、大分の海・水産業を紹介するパネル展示等を行い参加者の皆様をおもてなししました。また、つなぐバトンプロジェクト(P.60)で制作したアート作品なども展示し、参加者の皆様楽しんでいただきました。



式典行事

出演者紹介

ナビゲーター



KEIKO & マーク・パンサー (globe)

[KEIKO]

臼杵市出身。音楽グループglobeのボーカルとして活動。2023年1月より地元大分でのラジオ番組を通じて活動を再開。実家は「大分県臼杵市にある老舗料亭「山田屋」」。

[マーク・パンサー]

父はフランス人、母は日本人のハーフ。2歳からモデル活動を開始。音楽グループglobe、DJ、ラジオ番組のレギュラー出演にとどまらず、大学の客員教授として文化活動にも尽力。2021年には別府市のツーリズム別府大使に、2023年には日出町の観光親善大使に、2024年に佐伯市のさいき応援大使に就任。アパレル事業にも携わっている。

司会



小笠原 正典

TOSテレビ大分アナウンサー



田中 愛佳

TOSテレビ大分アナウンサー

作文コンクール最優秀作文発表



中園 瑛斗

大分市立大道小学校 2年



稚魚等のお受け者



神崎 隆実

大分県漁業協同組合
鶴見地区漁業副運営委員長



近乗 美信

大分県漁業協同組合
東国東地区漁業運営委員長 会長



三木 節夫

大分県漁業協同組合
保戸島地区漁業運営委員長



田中 浩二

大分県漁業協同組合
中津地区漁業運営委員長

海づくりメッセージ発表者



山田 和幸・あゆみ

大分県漁業協同組合
青年部長



山田 博一

大分県水産養殖協議会
青年部会副会長



足利 慶聖

特定非営利活動法人
水辺に遊ぶ会理事長



末廣 奈津子

大分県漁業協同組合
女性部にさき支部長

式典行事

プロローグ出演者



私立大分東明高等学校バントワリング部



大分県立由布高等学校郷土芸能部

式典補助員・介添え



大分県立大分西高等学校

式典音楽隊



iiichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ

大会旗入場(鼓笛隊)



私立千代町幼稚園

大会旗入場(旗手団)



大分県立海洋科学高等学校

エピローグ出演者



関の鯛つり唄・おどり保存会
大分市立佐賀関中学校
貴美千佳の会



津久見樫の実少年少女合唱団

海上歓迎・放流行事

概要

令和6年11月10日(日)、式典行事に引き続き別府港第4埠頭(別府市)において、天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、県内外の招待者や地元の小学生など324名が参加し、海上歓迎・放流行事を執り行いました。漁船団による海上パレードや漁法紹介を実施した後、マコガレイとマダイの稚魚を放流しました。

別府湾の豊かな漁場と美しい自然の景色を一望することのできる会場で、御放流所には県産スギ材を使用しました。



進行表

時間	プログラム・次第	内容・出演者等
13:55	招待者会場移動・整列	昼食会場から移動・整列
	歓迎演奏	演奏:大分県立別府翔青高等学校
	進行概要説明	司会より奉迎の案内
14:29	天皇皇后両陛下御着	
14:33	海上歓迎行事	漁船団パレード 漁船41隻
		漁法紹介 漁船8隻、官公庁船2隻 演奏:豊後潮太鼓
14:46	放流行事	マコガレイの放流 介添え:大分県立海洋科学高等学校 放流合図:別府市立春木川小学校
14:50		マダイの放流 介添え:大分県立海洋科学高等学校 放流合図:佐伯市立松浦小学校
14:54	天皇皇后両陛下御発	
15:00	終了	

海上歓迎・放流行事

歓迎演奏

大分県立別府翔青高等学校吹奏楽部による演奏で、招待者の皆様を歓迎しました。



天皇皇后両陛下御着



海上歓迎行事

豊後潮太鼓の力強い太鼓演奏の中、漁船団パレードと漁法紹介を天皇皇后両陛下に御覧いただきました。



海上歓迎・放流行事

漁船団パレード

別府湾周辺で操業している大分県漁業協同組合の安岐、杵築、日出、別府、大分の各支店に所属する41隻の漁船が、招待者の皆様を歓迎するため漁船団パレードを行いました。



漁法紹介

大分県で操業する漁船8隻、大分県漁業調査船、大分県漁業取締船が参加し、本県の代表的な漁法を紹介しました。

船名	船長	漁業種類等	説明
第五十五末廣丸 第1末廣丸 第2末廣丸	阿部 義広 阿部 久生 阿部 吉寛	機船船びき網漁業	シラスと呼ばれるカタクチイワシの稚魚を獲る漁法で、別府湾では網をひく2隻の網船と運搬船の3隻で船団を組んで操業します。
栄進丸	栄木 進二	小型機船底びき網漁業	袋状の網を漁船でひき、海底付近に生息する魚介類を獲る漁法です。ハモやイカ、エビ、カレイ類など、季節によって多種多様な水産物が漁獲されます。
晴喜丸	戎 昭治	一本釣り漁業	佐賀関地区の一本釣り漁業は、一本の釣り糸に枝のように擬似餌をたくさんつけ、指先に伝わる感触をたよりにアジやサバ、ブリなどを釣り上げます。
第八十八太幸丸	幸野 英樹	刺し網漁業	魚の通り道に仕掛けた網に魚を絡めてとらえる漁法です。別府湾では季節によって網を変え、サワラやマダイ、ブリなどを漁獲します。
第十一豊漁丸	難波 政則	ごち網漁業	岩場や魚礁に付くマダイの群れを網ですくい取る漁法です。潮の流れや海底地形を熟知し、正確な位置への網入れが求められ、高度な技術を必要とします。
第二十八天洋丸	浪井 陽満	もじゃこ漁業	海面を流れる藻に付く「もじゃこ」と呼ばれるブリの稚魚を養殖用の種苗として獲る漁法です。全国2位の生産量を誇る本県のブリ養殖を支える重要な漁業です。
豊洋	平川 誠	大分県漁業調査船	本県における水産研究の基礎的データの収集を目的として、海水温や赤潮などの海洋観測に加え、マアジ・タチウオといった水産資源の調査を行っています。
はつかぜ	中野 美徳	大分県漁業取締船	本県の豊かな漁場と水産資源を守るため、密漁や違反操業の取締り、漁業者の指導などを行っています。

海上歓迎・放流行事



第五十五末廣丸



第1末廣丸・第2末廣丸



栄進丸



晴喜丸



第八十八太幸丸



第十一豊漁丸



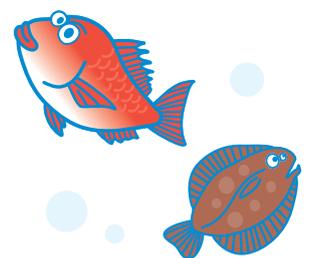
第二十八天洋丸



豊洋



はつかぜ



海上歓迎・放流行事

放流行事

本大会では、開催地である別府市の別府港第4埠頭のほか、記念すべき第1回全国豊かな海づくり大会の開催地である佐伯市松浦漁港でも放流行事を行いました。放流行事では、大分県立海洋科学高等学校生の介添えにより、天皇皇后両陛下がマコガレイとマダイの稚魚を御放流されました。また、両陛下の御放流に合わせて、別府会場と佐伯会場で同時に放流を行いました。

別府会場では招待者324名がマコガレイとマダイの稚魚を、佐伯会場では佐伯市内の小学生等60名がマダイの稚魚を放流しました。



マコガレイ



本県では瀬戸内海を主体に、底びき網漁業や刺し網漁業などで漁獲されます。日出町の「城下かれい」は本種のことであり、全国的に知られるブランド魚です。別府湾海域では、放流した種苗の生残率を高めるため、中間育成により稚魚を捕食されにくいサイズまで育て、放流しています。

マダイ



※写真提供：佐伯市

一本釣りや底びき網漁業、刺し網漁業、ごち網漁業など様々な漁法で漁獲されます。本県における本種の栽培漁業の歴史は古く、昭和56年の第1回大会でも放流しています。これまでに積極的な放流や資源管理が行われており、資源水準は回復基調にあります。

海上歓迎・放流行事

同時放流

別府、佐伯の両会場を相互に映像中継し、両会場で同時に放流を行いました。第1回御放流は別府市立春木川小学校児童、第2回御放流は佐伯市立松浦小学校児童が、それぞれ豊かな海づくりのメッセージを添えて放流合図を行いました。



モニターで佐伯会場を御覧になる両陛下



佐伯会場 歓迎の様子

◎第1回御放流



別府会場 放流合図を行う児童



別府会場 放流の様子

別府会場 放流合図

私たちは、魚をふやすために、ごみをポイ捨てせず、豊かな海をつくっていきます。
これから、みんなで、マコガレイの稚魚を放流しましょう。

◎第2回御放流



佐伯会場 放流合図を行う児童



佐伯会場 放流の様子

佐伯会場 放流合図

私たちは、大分の豊かな海をもっと知って、海を大切にしていきます。
これから、みんなで、マダイの稚魚を放流しましょう。

海上歓迎・放流行事

出演者紹介

吹奏楽演奏



大分県立別府翔青高等学校

和太鼓演奏



豊後潮太鼓

御放流介添え



大分県立海洋科学高等学校

放流合図



別府市立春木川小学校



佐伯市立松浦小学校

司会



藤村 晃輝
TOSテレビ大分
アナウンサー



和田 綾香
TOSテレビ大分
アナウンサー

漁船団パレード

安岐支店



杵築支店



日出支店



別府支店



大分支店



海上歓迎・放流行事

漁法紹介

第五十五末廣丸・第1末廣丸・第2末廣丸



栄進丸



晴喜丸



第八十八太幸丸



第十一豊漁丸



第二十八天洋丸



豊洋



はつかぜ



🌊 お手渡し魚等の記念放流

式典行事において、天皇皇后両陛下からイサキ、キジハタ、カジメ、アサリが、県内の漁業者にお手渡しされました。お手渡しを受けた稚魚等は、各地で放流や移植が行われました。

イサキ(令和6年11月13日)

天皇陛下からお手渡しを受けたイサキの稚魚は、大分県漁業協同組合鶴見支店の皆さんによって、大島地先で放流されました。



キジハタ(令和6年11月14日)

皇后陛下からお手渡しを受けたキジハタは、東国東地区漁業運営委員長会及び大分県漁業協同組合姫島支店並びに姫島小学校の皆さんによって、姫島地先で放流されました。



カジメ(津久見地区:令和6年11月22日、保戸島地区:令和6年11月29日)

天皇陛下からお手渡しを受けたカジメは、大分県漁業協同組合津久見支店及び保戸島支店の皆さんによって、津久見及び保戸島地先に移植されました。



アサリ(令和6年11月13日)

皇后陛下からお手渡しを受けたアサリは、大分県漁業協同組合中津支店の皆さんによって、中津地先に移植されました。



作品コンクール(絵画・習字)優秀作品御覧

概要

大会行事の一環として実施した作品コンクール(絵画・習字)の優秀作品(大分県知事賞受賞作品)を天皇皇后両陛下に御覧いただき、受賞者の児童・生徒一人ひとりにお声をかけていただきました。

実施日 令和6年11月9日(土)
場 所 ホテル日航大分 オアシスタワー



進行表

時間	次第	参加者等
18:10	天皇皇后両陛下御着	御先導:大分県知事
	絵画・習字優秀作品御覧	御説明:大分県教育委員会教育長 受賞者:大分県知事賞受賞者6名 絵画部門 小学生(低・高学年)、中学生 計3名 習字部門 小学生(低・高学年)、中学生 計3名
18:30	天皇皇后両陛下御発	御先導:大分県知事

受賞者・受賞作品

◎「絵画」大分県知事賞

小学校低学年の部 吉野 陽菜(別府市立亀川小学校)
小学校高学年の部 橋内 心奏(中津市立沖代小学校)
中学校の部 前田 百花(大分市立植田中学校)

「たこがつれたよ」
「自然の美しさを大切に」
「海と生きてゆく」

◎「習字」大分県知事賞

小学校低学年の部 佐藤 美月(日出町立大神小学校)
小学校高学年の部 千原 彩葉(大分市立下郡小学校)
中学校の部 木村 心鈴(大分大学教育学部附属中学校)

「うみ」
「豊かな海」
「海の恩恵」



漁業関係者との御懇談

概要

天皇皇后両陛下と県内漁業関係者・功績団体表彰受賞者が和やかに御懇談しました。

実施日 令和6年11月9日(土)

場 所 ホテル日航大分 オアシスタワー

進行表

時間	次第	参加者等
18:31	天皇皇后両陛下下御着	御先導：大分県知事
	漁業関係者との御懇談	御説明：大分県漁業協同組合代表理事組合長 御懇談：稚魚等お受け者 1名 若手漁業者等（海づくりメッセージ発表者） 5名 功績団体表彰受賞者 12名
18:51	天皇皇后両陛下下御発	御先導：大分県知事

御懇談者

- ◎稚魚等お受け者 田中 浩二（大分県漁業協同組合 中津支店）
- ◎若手漁業者等（海づくりメッセージ発表者）
 - 山田 和幸（大分県漁業協同組合 青年部）
 - 山田あゆみ
 - 山田 博一（大分県水産養殖協議会 青年部会）
 - 足利 慶聖（特定非営利活動法人 水辺に遊ぶ会）
 - 末廣奈津子（大分県漁業協同組合 女性部くにさき支部）
- ◎功績団体表彰受賞者
 - 栽培漁業部門
 - 豊島 功（大分県漁業協同組合別府湾地区4支店(大分・別府・杵築・日出)）
 - 水谷 隆行（赤須賀漁業協同組合）
 - 高桑 康文（サロマ湖養殖漁業協同組合）
 - 古菅 一芳（小菅村漁業協同組合）
 - 資源管理型漁業部門
 - 谷 勇（大分県漁業協同組合 姫島支店）
 - 飛田 正美（大洗町漁業協同組合）
 - 小畑 輝明（銚子市漁業協同組合 小型底曳部会）
 - 北島 徳治（佐賀県有明海漁業協同組合 大浦支所 投網業者会）
 - 漁場・環境保全部門
 - 松田 大和（富山県立滑川高等学校 海洋クラブ）
 - 松下光太郎（大分県漁業協同組合 津久見支店）
 - 渋澤 温之（恩納村コープサンゴの森連絡会）
 - 篠原 一生（壱岐市磯焼け対策協議会）



豊かな海づくりフェスタ

豊かな「おおいたの海」を食べて、体験して、楽しみながら学べるイベントとして、大会関連行事『豊かな海づくりフェスタ』を開催しました。

日 時：令和6年11月9日(土)・10日(日) 10:00～16:00

場 所：大分市 トヨタカローラ大分 祝祭の広場

大分駅北口駅前広場(府内中央口広場)

主 催：第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会・大分市

来場者：11月9日(土)20,502人、11月10日(日)15,272人



【トヨタカローラ大分 祝祭の広場】

トヨタカローラ大分 祝祭の広場では、さかなクン等によるステージイベントや大会行事の映像中継を実施したほか、漁船海難遺児育英会による募金活動や次期開催県(三重県)PRブースなどの企画展示・体験ブースを展開しました。また、県内の沿岸市町村から水産グルメを扱うブースが多数出店し、来場者に本県の味力(みりょく)あふれる多様な水産物を提供しました。併せて、来場者へ飲食物を提供する容器については、紙等の代替容器を使用することとし、大会基本方針に基づき、プラスチックごみ削減に向けた取組を実施しました。



豊かな海づくりフェスタ

【大分駅北口駅前広場】

大分駅北口駅前広場では、関ぶりのつかみ取りやタッチプール、生物展示をはじめ、海藻や貝殻などを使った工作や海ごみ探しワークショップなど、見て、聞いて、体験して、楽しみながら「豊かな海」とその保全について考え、学べる様々な企画展示・体験ブースを展開しました。



サテライト会場

【東九州大漁祭・つるみ豊魚祭(佐伯市)】

日 時：令和6年11月10日(日) 10:00～15:30

場 所：松浦漁港(佐伯市公設水産地方卸売市場鶴見市場)

主 催：東九州大漁祭実行委員会

内 容：地元小中学生によるダンスステージ、地魚の直売、魚のつかみ取り、せり体験、松浦漁港周遊クルージングなどを実施しました。

式典行事、海上歓迎・放流行事の様子を中継し、来場者にご覧いただきました。

来場者：約15,000人



【市民おさかな感謝デー(中津市)】

日 時：令和6年11月10日(日) 9:00～16:00

場 所：小祝漁港

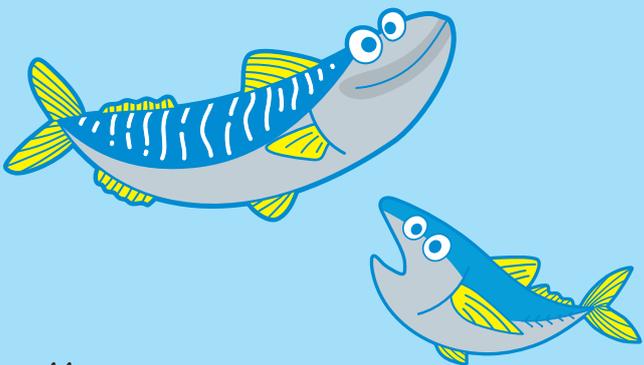
主 催：市民おさかな感謝デー実行委員会

内 容：オーロラ源星中津太鼓による太鼓演奏、地魚の直売、魚のつかみ取り、千人鍋のふるまいなどを実施しました。

式典行事、海上歓迎・放流行事の様子を中継し、来場者にご覧いただきました。

来場者：約5,000人







大会開催のあゆみ

大会開催経過

令和3年度

7月7日	大分県漁業協同組合からの大会招致に係る要望
9月7日	知事定例記者会見で令和6年度大会招致を表明
9月13日	豊かな海づくり大会推進委員会に開催申請書を提出 【令和6年度第43回大会の大分県開催】
10月3日	第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～参加
11月2日	豊かな海づくり大会推進委員会が令和6年度本県開催を決定 知事定例記者会見で開催決定を発表
2月9日	第43回全国豊かな海づくり大会第1回準備委員会を開催

令和4年度

4月1日	農林水産部漁業管理課内に準備班を設置(4名)
7月4日	第43回全国豊かな海づくり大会第2回準備委員会を開催
8月24日	第43回全国豊かな海づくり大会第3回準備委員会を開催
10月3日	第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会設立及び 第1回総会を開催【基本構想、開催地を決定】
10月11日	リレー放流を開始
10月17日	大会テーマ、コスチューム及びロゴマークデザイン募集開始(～1月13日)
11月12日・13日	第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会～御食国ひょうご～に参加
12月16日	第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会第1回幹事会を開催
2月24日	第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会第2回幹事会を開催(書面)
3月28日	第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会第2回総会を開催(書面) 【大会計画骨子(暫定版)を決定】

令和5年度

4月1日	農林水産部内に全国豊かな海づくり大会推進室を設置(14名)
4月18日	大会公式Instagramアカウントを開設
5月30日	第43回全国豊かな海づくり大会計画書作成支援等業務に係る 企画提案競技審査委員会を開催
6月12日	第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会第3回幹事会を開催

大会開催経過

6月26日	第43回全国豊かな海づくり大会宿泊・輸送等計画作成業務に係る企画提案競技審査会を開催
6月29日	第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会第3回総会を開催【大会計画骨子、大会テーマ・コスチューム・ロゴマークを決定】
8月1日	豊かな海づくり大会推進委員会より大会開催日の正式決定通知 知事定例記者会見で大会開催日を発表 【令和6年11月10日(日)】
9月16日・17日	第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会に参加 【次期開催県として大会旗を受け取り、関連行事会場で開催PR】
9月21日	第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会第4回幹事会を開催(書面)
9月29日	大会公式ホームページを開設
11月4日	第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～ 1年前プレイベント「おおいた海博」を開催 つなぐバトンプロジェクトを開始
1月17日	大会記念弁当試食会を開催
2月19日	第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会第5回幹事会を開催
2月28日	豊かな海づくり大会推進委員会 令和5年度第2回幹事会に出席(WEB) 【大会計画(案)、公式ポスター(案)を説明】
3月27日	第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会第4回総会を開催 【大会計画を決定】

令和6年度

4月1日	作品コンクール(作文・絵画・習字)募集開始(～5月31日)
6月5日	第43回全国豊かな海づくり大会大分県実施本部を設置 大分県行幸啓事務本部を設置
6月7日	第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会第6回幹事会を開催(書面)
7月5日	第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会第5回総会を開催(書面) 【前年度決算、当年度補正予算を決定】
7月14日	令和6年度別府市海岸海浜清掃奉仕活動・全国一斉海浜清掃旗揚げ式 (悪天候により中止)
8月2日	100日前イベントを開催
8月6日	リレー放流を終了(全43回)
8月19日	宮内庁にお執り成し書を提出
9月2日～4日	宮内庁事前調査
9月12日	つなぐバトンプロジェクト アート作品が完成(メッセージカード1,400枚)

大会開催経過

9月14日	海上歓迎・放流行事リハーサルを実施
9月17日	第43回全国豊かな海づくり大会大分県実施本部員説明会を開始(～11月8日)
9月29日	式典行事リハーサルを実施
10月1日	大分駅・別府駅・大分空港で歓迎装飾を開始(～11月10日)
10月9日	宮内庁が行幸啓の正式決定を発表
10月21日	オリジナルフレーム切手「第43回全国豊かな海づくり大会」贈呈式
10月30日	行幸啓取材説明会
11月8日	宮内庁先着供奉員による現地調査
11月9日	前日総合リハーサル(式典行事、海上歓迎・放流行事)を実施
11月9日・10日	第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～を開催 ◆絵画・習字優秀作品御覧 ◆漁業関係者との御懇談 ◆式典行事 ◆海上歓迎・放流行事 ◆関連行事:豊かな海づくりフェスタ ほか
11月13日	お手渡し魚等の記念放流(イサキ:佐伯市大島) お手渡し魚等の記念放流(アサリ:中津市小祝)
11月14日	お手渡し魚等の記念放流(キジハタ:姫島村)
11月22日	お手渡し魚等の記念放流(カジメ:津久見市高浜)
11月29日	お手渡し魚等の記念放流(カジメ:津久見市保戸島)
1月1日	全国豊かな海づくり大会推進室の人員体制を変更(10名)
2月17日	豊かな海づくり大会推進委員会 令和6年度第2回幹事会に出席
2月20日	第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会第7回幹事会を開催
3月26日	第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会第6回総会を開催

大会テーマ、ロゴマーク

概要

大会の開催を広くPRし、大会の機運を醸成するため、大会テーマ、ロゴマーク及びコスチュームデザインを募集、決定しました。

大会テーマ

- 募集対象：全国公募
- 募集内容：大分県大会の開催意義や基本理念、基本方針をわかりやすく表現した覚えやすいスローガン・標語
- 募集期間：令和4年10月17日(月)～令和5年1月13日(金)
- 応募総数：1,556件
- 最優秀賞：佐藤 良平(大分県)
「つなぐバトン 豊かな海を 次世代へ」

(作品の意図)

おおいたの豊かな水産資源を、次の世代へバトンでつないでいくという思いを込めました。また、第1回を開催した地である大分で、第43回を迎えることから、海づくりのバトンをさらに次の地域につないでいきたいという思いを込めました。



大会ロゴマーク

- 募集対象：全国公募
- 募集内容：大分県の豊かな自然環境で育まれた多様な県産水産物をPRできるような分かりやすいロゴマークデザインのカラーイラスト画
- 募集期間：令和4年10月17日(月)～令和5年1月13日(金)
- 応募総数：1,052件
- 最優秀賞：横山 知世(静岡県)

(作品の意図)

大分県の豊かな海・川で泳ぐ魚の群れを表現しました。色は関さば・関あじ、真鯛、車海老など、大分県の多様な水産物をイメージしています。模様のように繋がるビジュアルは豊かな自然環境を守り次代へ繋いでいくという意味を込めました。



※在住地は応募時点のものです。

大会コスチュームデザイン、大会記念弁当

大会コスチュームデザイン

- 募集対象：全国公募
- 募集内容：大分県応援団「鳥」「めじろん」の大会専用コスチュームデザインのカラーイラスト画
- 募集期間：令和4年10月17日(月)～令和5年1月13日(金)
- 応募総数：1,025件
- 最優秀賞：小林 千夏(茨城県)

(作品の意図)

漁業の明るい未来と勢いを表現するため大漁旗をイメージした法被を着せました。今にも飛び出してくるような魚のイラストをメインビジュアルにしています。



【前面】

【背面】

※在住地は応募時点のものです。

大会記念弁当

大分県を代表するイタリアンシェフ“梯 哲哉氏”監修のもと、県内の特産品をふんだんに盛り込み、イタリアンと郷土料理を基調とした大会記念弁当「おんせん県おおいた味力満載弁当」を提供(有料)しました。

メニュー監修 ^{かけし} ^{てつ} ^や 梯 哲哉(オット・エ・セツテ大分)

- ・別府市鉄輪にあるイタリアンレストラン「Otte e Sette Oita」オーナーシェフ
- ・県産食材と地獄蒸しに特化した料理を展開
- ・料理人の団体「食ラボ大分」代表



弁当調整業者 有限会社まるみや



デザート 日田梨を安心院ワインでコンポート。ブランドいちご“ペリーツ”は郷土料理のじり焼きに。	姫島車えびと うまみだけのサラダ 姫島車えびと“うまみだけ”を香り野菜と柚子胡椒ドレッシングでサラダに。	きらすまめしと ひじきのサラダ 魚の切身とおからを混ぜた“きらすまめし”(郷土料理)にかぼすを添えて。
おおいた和牛の 地獄蒸し 温泉の蒸気で地獄蒸しにした“おおいた和牛”とクロダマル(黒豆)はバセリソースとご一緒に。	かぼすブリの 塩麹焼き 塩麹で焼いたかぼすブリに国東オリーブの新漬け、温泉パプリカのマリネを添えて。	ヒオウギガイの シュウマイ 佐伯のヒオウギガイと“米の恵み”豚で作り上げた具を包み込んだシュウマイに。
鶏めし “おおいた冠地どり”の鶏めし。豊後別府湾ちりめんをちりめん山椒に。	ハモかつと 白ねぎのマリネ 別府湾の骨切りハモはフライに。豊後高田の白ねぎはマリネに。	黄飯 クチナンで炊いた黄色いご飯は祝いの席でもふるまわれる郷土料理。

1年前イベント「おおいた海博」

大会本番に向けた実地での検証と県民への機運醸成を目的に、「海上歓迎・放流行事」の会場となる別府港第4埠頭で1年前イベント『おおいた海博(うみはく)』を開催しました。

概要

日時／令和5年11月4日(土) 9:30~16:00

場所／別府港第4埠頭及び隣接の多目的広場

内容／◎ 式典行事

- ・開会あいさつ(知事・別府市長)
- ・来賓あいさつ(「美しきOITA」海と川・水べの利用促進協議会会長・水産庁増殖推進部長)
- ・大会コスチューム、ロゴマーク及びテーマ紹介

◎ 海上歓迎・放流行事

- ・歓迎演奏、漁船パレード
- ・稚魚放流(マコガレイ・マダイ)
- ・閉会あいさつ(県議会議長)

◎ 機運醸成イベント

- (ステージショー・魚のつかみ取り・ブース出展ほか)

来場者／式典行事等への招待者：176人、

機運醸成イベントへの来場者：約6,000人



100日前イベント

大会の周知と開催に向けた機運の醸成を図るため、100日前イベントを開催しました。

概要

日時／令和6年8月2日(金) 16:00~16:50

場所／大分駅北口駅前広場(府内中央口広場)

内容／・副知事あいさつ

- ・カウントダウンボード点灯式
- ・大会ナビゲータートークショー(globe)
- ・スペシャルゲストパフォーマンス(AMEMIYA)
- ・ハモかつ500食 無料配布

来場者／約500人

その他／お披露目されたカウントダウンボードは、大会当日の11月10日(日)まで、JR大分駅みどりの窓口前に設置しました。



リレー放流

大会に向けた機運醸成の取組として、令和4～6年度の3年間で市町村や大分県漁業協同組合・内水面漁業協同組合等の協力のもと県内各地で計43回（内1回、雨天中止）行いました。合計で1,654人が参加し、稚魚等を63,730尾放流しました。また、放流に合わせて水産関係者等が講師となって水産教室を実施し、子どもたちに栽培漁業や地域の水産業、環境などについて学んでもらいました。

令和4年度 リレー放流

実施日	市町村	参加学校・児童等	参加人数	放流魚種	放流数	水産教室の内容
10月11日	佐伯市	佐伯市立松浦小学校	57	イサキ	300	①佐伯市の水産業・海ごみについて ②干物焼き体験 ③タッチプール ④まき網漁船見学
11月8日	日出町	日出町立日出小学校	59	マコガレイ	300	①マコガレイ・海ごみについて ②マコガレイ餌やり体験
2月25日	国東市	豊かな海体験教室 参加者	15	マコガレイ	2,000	①爆走SAKIのトークショー ②チリメンモンスター探し

令和5年度 リレー放流

実施日	市町村	参加学校・児童等	参加人数	放流魚種	放流数	水産教室の内容
4月28日	佐伯市	佐伯市立切畑小学校 明治小学校 上野小学校	66	アユ	8,000	アユについて
5月12日	中津市	中津市立樋田小学校	10	アユ	3,000	①地元水産業について ②生き物観察会 ③アユの塩焼き試食
5月13、14日	日出町	第38回城下かれい祭り 来場者	115	マコガレイ	1,500	①マコガレイの観察会 ②タッチプール
5月28日	宇佐市	宇佐市長洲「浜の市」来場者	20	マコガレイ	300	地元水産業について
6月1日	杵築市	杵築市立東小学校				雨天中止
6月7日	国東市	国東市立富来小学校	16	マコガレイ	300	①マコガレイ・海ごみについて ②マコガレイ観察会
6月7日	津久見市	津久見市立津久見小学校	28	カサゴ	400	①栽培漁業について ②干物焼き体験
6月9日	別府市	別府市立亀川小学校 亀川幼稚園	68	マコガレイ	1,000	マコガレイについて
6月16日	臼杵市	臼杵市立佐志生小学校	15	マダイ	300	①地元水産業について ②ブリ養殖場の見学
6月16日	杵築市	杵築市立北杵築小学校	43	アサリ	—	①アサリについて ②アサリの間引き体験
6月29日	大分市	大分市立佐賀関小学校	46	マダイ	400	①地元水産業について ②漁協の施設見学
6月29日	豊後高田市	豊後高田市立香々地小学校 三浦小学校	37	ガザミ	—	地元水産業について
7月4日	姫島村	姫島村立姫島小学校	29	クルマエビ	6,000	クルマエビについて
7月6日	中津市	中津市立南部小学校	15	マコガレイ	300	①地元水産業について ②生き物観察会
7月18日	杵築市	杵築市立護江小学校	21	カブトガニ	50	干潟観察会
9月24日	佐伯市	佐伯市立松浦小学校 松浦幼稚園	36	イサキ	600	イサキについて
10月20日	佐伯市	小中一貫校蒲江翔南学園	37	カジメ	—	①藻場の保全活動について ②カジメ遊走子の観察
11月17日	佐伯市	佐伯市立東雲中学校	18	マダイ	80	①栽培漁業について ②海岸清掃
3月13日	由布市	由布市立阿南小学校	26	アユ	500	大分川について

令和6年度 リレー放流

実施日	市町村	参加学校・児童等	参加人数	放流魚種	放流数	水産教室の内容
4月17日	日田市	日田市立高瀬小学校	26	アユ	10,000	①アユ・川の環境を守る取組について ②魚の観察会
4月25日	佐伯市	佐伯市立切畑小学校 明治小学校 上野小学校	59	アユ	10,000	アユについて
5月11、12日	日出町	第39回城下かれい祭り来場者	188	マコガレイ	2,000	①マコガレイの観察会 ②タッチプール
5月14日	豊後大野市	豊後大野市立犬飼小学校	22	アユ	300	①アユ・大野川・海ごみについて ②アユの観察会
5月15日	中津市	中津市立樋田小学校 上津小学校	11	アユ	5,000	①地元水産業について ②アユの塩焼き試食
5月24日	玖珠町	玖珠町立学びの多様化学校	12	アユ	1,000	アユについて
5月26日	宇佐市	宇佐市長洲「浜の市」来場者	20	マコガレイ	300	地元水産業について
6月3日	国東市	国東市立富来小学校	14	マコガレイ	300	①マコガレイ・海ごみについて ②マコガレイ観察会
6月6日	別府市	別府市立亀川小学校 亀川幼稚園	121	マコガレイ	500	マコガレイについて
6月7日	大分市	大分市立鶴崎小学校	53	ウナギ	2,000	ウナギについて
6月11日	杵築市	杵築市立豊洋小学校	31	マコガレイ	300	①マコガレイ・海ごみについて ②マコガレイの観察会
6月14日	臼杵市	臼杵市立海辺小学校	63	マコガレイ	300	①地元水産業について ②大分県立海洋科学高等学校生徒によるブリの解体ショー
6月21日	姫島村	姫島村立姫島中学校	14	マコガレイ	300	①地元水産業・マコガレイについて ②マコガレイの観察会 ③ロープワーク体験
6月21日	杵築市	杵築市立東小学校	47	アサリ	—	①アサリについて ②アサリの間引き体験
6月25日	豊後高田市	豊後高田市立香々地小学校 三浦小学校	40	ガザミ	—	地元水産業について
7月2日	大分市	大分市立佐賀関小学校	38	マダイ	400	①地元水産業について ②漁協の施設見学
7月3日	姫島村	姫島村立姫島小学校	24	クルマエビ	4,500	①クルマエビについて ②初泳ぎ
7月3日	津久見市	津久見市立堅徳小学校	26	カサゴ	300	栽培漁業について
7月8日	中津市	中津市立南部小学校 南部幼稚園	28	マコガレイ	300	マコガレイについて
7月26日	佐伯市	佐伯市立東雲小学校	19	マダイ	300	マダイについて
8月6日	佐伯市	佐伯市立米水津中学校	21	マダイ	300	①干物について ②干物焼き体験

🌊 リレー放流

放流



令和4年10月11日



令和5年2月25日



令和5年6月9日



令和6年5月15日



令和6年7月3日



令和6年8月6日

水産教室



令和5年5月28日



令和5年6月7日



令和5年6月16日



令和5年6月29日



令和6年5月14日



令和6年6月21日

広報活動等

公式ホームページ

大会情報の発信に加え、特設ページ「おさかな大浴場おおいた」を設け、県産水産物の魅力や水産関係者の取組等を記事にまとめ発信しました。



公式 Instagram

県民が日常的に「海」や「水産」に関する情報に触れる機会を創出するため、イベント情報や大分県産魚に関する定期的な情報発信を行いました。



大分県産魚紹介

イベント情報

ウオメシ紹介

プレゼントキャンペーン



Pick UP

令和5年5月26日

大分県応援団“鳥”を務める「めじろん」が全国豊かな海づくり大会の「広報隊“鳥”」に任命される任命式が開催されました。各地域のイベントに向かい、大会をPRして、大分のお魚や水産業にもっと興味を持ってもらえるよう頑張る!と意気込んでいました。

大会PR隊

県内各地で行われた水産関連イベントなどの機会を利用し、大会の機運醸成を図ることを目的としたPR活動を実施しました。

No.	実施年月日		行事名	場 所
1	令和4年	10月22日～23日	大分県農林水産祭	別府市
2	令和5年	1月15日	第1回杵築市農林水産祭	杵築市
3		5月13日～14日	第38回城下かれい祭り	日出町
4		7月9日	レゾナックMATCH&おんせん県おおいた祭り	大分市
5		8月5日	夏休み子ども向けお魚教室	臼杵市
6		8月18日	高田観光盆踊り大会	豊後高田市
7		8月27日	大分みなと祭り	大分市
8		9月16日	キティちゃんと親子で海岸清掃	杵築市
9		9月24日	つるみ豊魚祭2023&東九州大漁祭	佐伯市
10		10月1日	T-1グランプリ	国東市
11		10月4日	インスタフォローキャンペーン水族館うみたまご	大分市
12		10月5日	春木川小学校事前授業	別府市
13		10月9日	マイナビ ツール・ド・九州	日田市
14		10月15日	おおいたお魚フェス	大分市
15		10月21日～22日	大分県農林水産祭	別府市
16		10月22日	姫島車えび祭り	姫島村
17		10月28日	うつくし感謝祭	大分市
18		10月28日～29日	2023ひじ産業文化まつり	日出町
19		10月29日	第89回宇佐市長洲「浜の市」	宇佐市
20		11月3日	姫島村民文化祭	姫島村
21		11月4日	1年前イベント「おおいた海博」	別府市
22		11月4日	第41回津久見市ふるさと振興祭	津久見市
23		11月11日	第12回学校給食フェア	大分市
24		11月11日～12日	おおいたマルシェ	大分市
25		11月26日	市民おさかな感謝デー	中津市
26		令和6年	1月20日～21日	第2回杵築市農林水産祭
27	4月6日		おおいた人とみどりふれあいいち	大分市
28	5月5日		どんこ釣り大会	豊後大野市
29	5月11日～12日		第39回城下かれい祭り	日出町
30	5月12日		トリニータ県民デー	大分市
31	5月25日～26日		日田川開き観光祭	日田市
32	7月28日		ななせ火群まつり	大分市
33	8月18日		夏休み子ども向けお魚教室	臼杵市
34	9月28日		きつきお魚まつり	杵築市
35	9月28日		水産業見学ツアー（1回目）	豊後高田市

広報活動等

No.	実施年月日		行事名	場 所
36	令和6年	10月6日	かみうら食まつり	佐伯市
37		10月12日	水産業見学ツアー（2回目）	豊後高田市
38		10月12日	T-1グランプリ	国東市
39		10月19日～20日	大分県農林水産祭	別府市
40		10月20日	姫島車えび祭	姫島村
41		10月26日	第42回津久見市ふるさと振興祭	津久見市
42		10月27日	第91回宇佐市長洲「浜の市」	宇佐市
43		11月2日	第13回学校給食フェア	大分市
44		11月10日	市民おさかな感謝デー	中津市

大会専用法被を着た大会広報隊“鳥”「めじろん」と一緒に県内各地で大会PRを実施しました。



No.4 大会ノベルティの配布



No.25 ステージで大会PR



No.30 ピッチにめじろん登場

PR活動とあわせ、県内各地で大会基本方針に沿ったメッセージも発信しました。



No.15 鮮魚捌きコーナーの出店



No.17 海ごみ(実物)展示



No.31 栽培漁業のパネル展示

子ども達を対象として、海や川を身近に感じられる様々なゲームや体験を企画、実施しました。



No.3 海の生き物タッチプール



No.12 海の落語プロジェクト



No.28 投網体験ゲーム

広報活動等

森・川・海つながり実感！プロジェクト



多様な生物が暮らす「豊かな海」を次世代に継承していくため、森・川・海のとつながり自然環境の保全について、県民への理解を促し、環境保全への意識を高めることを目的に、県内小学生(4～6年生)を対象にした体験学習プログラム「森・川・海つながり実感！プロジェクト」を開催しました。

令和5年度：全3回(延べ45名参加)

令和6年度：全6回(延べ85名参加)



広報活動等

つなぐバトンプロジェクト

次世代を担う子どもたちの「豊かな海」に対する想いをアート作品として、バトンのように未来につなぐプロジェクトです。1年前イベントにて、私立大分高等学校書道部のみなさんに作品の下絵を描いていただきスタートしました。

主にリレー放流に参加した子どもたちに、大会ロゴマークをベースにしたカードにメッセージを書いてもらい、集まったカードはリレー放流のアンカーである佐伯市立米水津中学校のみなさんの手により作品として仕上げられ、大会当日に式典行事、海上歓迎・放流行事の両会場に展示しました。



広報活動等

うみの幸が当たる！クイズラリー



大会の機運醸成を図るとともに、県民に海や川、水生生物等、ひいては水産業に興味関心を持ってもらうことを目的に、県内唯一の海洋生物を展示する水族館である、大分マリンパレス水族館「うみたまご」の館内にてクイズラリーを開催しました。

(概要) 開催期間: 令和6年10月1日(火)～11月10日(日)
参加者数: 延べ2,070人



全国一斉海浜清掃旗揚げ式

令和6年7月14日(日)に別府市のスパビーチ・餅ヶ浜海浜公園・関の江海岸にて開催予定だった「令和6年度別府市海岸海浜清掃奉仕活動・全国一斉海浜清掃旗揚げ式(別府市及び公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構との共催)」については、悪天候のため中止となりました。

協賛行事

大会の基本理念に賛同する企業や団体等が実施する行事を「協賛行事」として募集しました。

No.	行事名	主催者	開催年月日	開催場所
1	関の江海水浴場海開き 砂ASO BEACH	別府市	令和5年7月16日～8月12日	関の江海水浴場(別府市)
2	佐伯湾チャリティー船釣り大会 鯛の稚魚放流	佐伯市船舶管理協同組合	令和5年7月16日	西上浦公民館(佐伯市)
3	毎月第4金曜日 おおいた県産魚の日 旬のおさかなフェア	大分県漁業協同組合	令和5年7月28日、9月22日、 10月27日、11月24日、 令和6年1月26日、3月22日	おさかなランド2店舗(大分市)
4	夏休み干潟教室 (臼杵干潟アサリ復活プロジェクト)	うすき海のほんまもん漁業推進協議会	令和5年7月30日	臼杵干潟など(臼杵市)
5	夏休みおさかな教室	うすき海のほんまもん漁業推進協議会	令和5年8月5日	臼杵市役所大会議室
6	秋の臼杵ん地魚フェア	うすき海のほんまもん漁業推進協議会	令和5年9月1日～9月30日	臼杵市内「臼杵ん地魚」認定飲食店
7	プロに学ぶ 地魚名産「中津鱧」 「鱧料理」	おおいた県産魚の日運営委員会	令和5年7月27日	東九州龍谷高等学校(中津市)
8	八坂川探検Ⅰ	八坂かっぱクラブ	令和5年7月31日	八坂丸山の淵(ワンド)～水の口湧水～ 八坂川河口干潟(杵築市)
9	おおいた佐賀関のギフト	大分県漁業協同組合佐賀関支店	令和5年7月19日～9月30日	大分県漁業協同組合佐賀関支店(大分市)
10	見て！感じて！体験しよう！！ 県漁協佐賀関支店裏側ツアー	子ども体験型共有実行委員会	令和5年8月20日	大分県漁業協同組合佐賀関支店荷捌施設 (大分市)
11	第40回関の鯛つりおどり大会 第5回関の鯛つり唄日本一大会 第29回WOC大漁おし初め大会	特定非営利活動法人 さかのせきまちづくり協議会	令和5年9月9日	佐賀関市民センター、大分県漁業協同組合 佐賀関支店荷捌施設(大分市)
12	ガタフェス5th	水辺に遊ぶ会	令和5年8月20日	ひがたらぼ(中津市)
13	守江湾海岸清掃大作戦！	杵築市まちび力運動推進委員会	令和5年10月28日	杵築市海浜夢公園
14	令和5年大分みなと祭り	大分みなと祭り実行委員会	令和5年8月27日	大在公共埠頭(大分市)
15	カプトガニ産卵地清掃と干潟での 観察会を通して生物多様性を学ぼう！	NTT大分グループ	令和5年8月27日	守江湾首ひねり波止前の干潟(杵築市)
16	臼杵アサリ復活プロジェクト 体験ツアー	子ども体験型共有実行委員会	令和5年9月2日	臼杵市役所大会議室
17	第43回全国豊かな海づくり大会 ～おんせん県おおいた大会～ 応援テーマ展示「大分県産「豊」流魚」	大分マリンパレス水族館 「うみたまご」	令和5年10月4日～12月3日	大分マリンパレス水族館「うみたまご」 ワンダーゾーン
18	つるみ豊魚祭2023&東九州大漁祭	東九州大漁祭実行委員会	令和5年9月24日	佐伯市公設水産地方卸売市場鶴見市場
19	令和5年度 第2回こみゼロ クリーン大作戦	豊後高田市	令和5年10月22日	真玉海岸・中央公園
20	間越来だんせへ市 伊勢エビまつり	間越来だんせへ市実行委員会	令和5年9月17日	米水津浦代浦間越(佐伯市)
21	第8回おおいた食と暮らしの祭典	おおいた食と暮らしの祭典実行委員会	令和5年10月14日～10月15日	お部屋ラボ 祝祭の広場、ガレリア竹町 ドーム広場、コンパルホール(大分市)
22	「安心・安全な魚現地研修会」	大分県水産養殖協議会	令和5年10月10日、10月24日、 10月27日	津久見市四浦～佐伯市上浦
23	令和5年度「かばすぷり」旬入り宣言式	おおいた県産魚の日運営委員会	令和5年10月2日	大分市公設地方卸売市場 水産部(セリ場)
24	宇佐市長洲「浜の市」	宇佐市長洲「浜の市」実行委員会	令和5年10月29日	長洲魚市場(宇佐市)
25	2023むじ産業文化まつり	日出町農林水産課	令和5年10月28日～10月29日	日出町中央公民館
26	おおいたお魚フェス	大分県漁業協同組合佐賀関支店	令和5年10月15日	お部屋ラボ 祝祭の広場(大分市)
27	大分県協同組合協議会 地域貢献活動	大分県協同組合協議会	令和5年10月30日	別府港第4埠頭(別府国際観光港)および 多目的広場
28	秋の魚市場祭り	地方卸売市場 株式会社高田魚市場	令和5年10月22日	高田魚市場場内(豊後高田市)
29	大分市農林水産フェス(おおいた マルシェ&大分市木育フェス)	大分市	令和5年11月11日～11月12日	大分いこいの道広場
30	第20回姫島車えび祭	姫島村	令和5年10月22日	姫島港フェリー広場
31	八坂かっぱクラブ 第4回活動 「うなぎ塚の見学と体験」	八坂かっぱクラブ	令和5年10月14日	八坂の八坂川 中村橋上流付近(杵築市)
32	津久見市ふるさと振興祭	津久見市ふるさと振興祭実行委員会	令和5年11月4日～11月5日	つくみん公園(津久見市)
33	第8回佐伯みなとお魚フェスタ	佐伯みなとお魚フェスタ実行委員会	令和5年11月5日	佐伯魚市場(佐伯市)
34	令和5年度市民おさかな感謝デー	市民おさかな感謝デー実行委員会	令和5年11月26日	小祝漁港(中津市)
35	令和5年度佐賀関ふるさとまつり	特定非営利活動法人さかのせき まちづくり協議会	令和5年10月29日	佐賀関市民センターふれあい広場(大分市)
36	第5回大神魚市場感謝祭	大分県漁業協同組合日出支店	令和5年11月11日	大神漁港(日出町)
37	大分県産の魚介類や野菜を使ったアウト ドア シーフードバリエーション作り体験	大分市キャンプ協会	令和5年11月19日	高尾山自然公園キャンプ場(大分市)
38	第7回 おおいた県「おさかな絵」 コンテスト 表彰式	おおいた県産魚の日運営委員会	令和5年12月2日	大分市公設地方卸売市場 大分魚市(株)会議室

広報活動等

No.	行事名	主催者	開催年月日	開催場所
39	おおいた佐賀関のギフト(2023W)	大分県漁業協同組合佐賀関支店	令和5年12月1日~令和6年1月31日	大分県漁業協同組合佐賀関支店(大分市)
40	うすき水産シンポジウム~臼杵湾の環境と漁業を考える。臼杵湾のアサリ復活のために私たちができること~	うすき海のほんまもん漁業推進協議会	令和6年3月10日	臼杵市民会館大ホール
41	第6回多肉カーニバル	Lier.succulent 株式会社	令和6年4月13日	別府国際コンベンションセンター
42	自然体験冬キャンプ	大分市キャンプ	令和6年2月17日~2月18日	のつはる西部の楽校(大分市)
43	桜の植樹活動~[私たちに出来るSDGsシリーズ]第7弾!~	NTT大分グループ	令和6年3月9日	大分県民の森 平成森林公園さくら園(大分市)
44	おおいたの魚を知ろう	別府大学	令和6年2月25日	別府大学 メディアセンター
45	2024年 関あじ関さばまつり	特定非営利活動法人 さがのせきまちづくり協議会	令和6年3月9日	大分県漁業協同組合佐賀関支店 荷捌施設周辺
46	のりノリでのりスキ!! 中津干潟で海苔づくり体験	NPO法人水辺に遊ぶ会	令和6年3月16日	中津市北部公民館前
47	第35回さがのせきビーチクリーンアップ作戦	さがのせきビーチクリーンアップ 作戦実行委員会	令和6年5月26日	馬場海岸、こうざき海岸など(大分市)
48	長洲海岸ビーチクリーンアップ	長洲アーバンデザイン会議	令和6年4月27日	長洲海岸(宇佐市)
49	宇佐市長洲「浜の市」	宇佐市長洲「浜の市」実行委員会	令和6年5月26日	長洲魚市場(宇佐市)
50	第42回ゴミフ大会	ゴミフ大会実行委員会	令和6年5月30日	竹田市(竹田・豊岡・玉来・荻地区)
51	毎月第4金曜日おおいた県産魚の日 旬のおさかなフェア	大分県漁業協同組合	令和6年4月26日、5月24日、7月26日、9月27日、10月25日、11月22日	おさかなランド2店舗(大分市)
52	第39回城下かかれい祭り	城下かかれい祭り実行委員会	令和6年5月11日~5月12日	日出小学校、日出港、日出町中間育成施設
53	みんなでデイキャンプin高尾山	大分市キャンプ協会	令和6年5月6日	高尾山自然公園キャンプ場(大分市)
54	中津干潟お散歩イベント	大分県生活環境部自然保護推進室	令和6年5月18日	中津干潟(中津市)
55	2024年度 ビーチクリーン 松葉かき	NPO法人水辺に遊ぶ会	令和6年5月19日、9月15日、12月8日	大新田海岸(中津市)
56	深海の秘密セミナー& 子ども画伯体験教室	一般社団法人Mfisea	令和6年7月15日	ビーコンプラザ(別府市)
57	田ノ浦ビーチクリーン	このてに	令和6年6月2日	田ノ浦ビーチ(大分市)
58	ビルの上の社交場~第43回 全国豊かな海づくり大会 ~おんせん県おおいた大会~	食ラボ大分(大分食文化研究所)	令和6年7月21日	wazawazaビル4階(大分市)
59	みーんなで行う海岸清掃	NPO法人国東市手と手とまちづくりたい	令和6年7月19日	黒津崎海岸付近(国東市)
60	天津の海をきれいに (令和6年度 クリーン作戦)	天津地域づくり協議会	令和6年10月11日	天津海岸海浜広場(宇佐市)
61	日本さかな検定	一般財団法人観光まちづくり佐伯	令和6年11月4日	佐伯地区公民館(佐伯市)
62	OITAスボGOMIブロック大会	大分県生活環境部循環社会推進課	令和6年7月20日~9月8日	中津城公園、的ヶ浜公園、大分西部振興局、臼杵土木事務所、竹田市城下町交流プラザ、佐伯市役所
63	プロに学ぶ 地魚名産「中津鯉」 「鯉料理」	おおいた県産魚の日運営委員会	令和6年7月24日	東九州龍谷高等学校(中津市)
64	親子お魚さばき方料理教室	大分市	令和6年8月22日	鶴崎公民館(大分市)
65	おおいた佐賀関のギフト(2024S)	大分県漁業協同組合 佐賀関支店	令和6年7月1日~8月31日	大分県漁業協同組合佐賀関支店(大分市)
66	守江湾海岸清掃大作戦!	杵築市まちピカ運動推進委員会	令和6年11月2日(雨天中止)	杵築市海浜夢公園
67	清掃活動(海岸・漁港・港湾施設)	大分県漁業協同組合 臼杵地区	令和6年7月15日~7月27日	臼杵市内各海岸
68	マリンスクール'24	大分県土木建築部河川課	令和6年7月21日	田ノ浦ビーチ(大分市)
69	おおいた水の日2024 雲と雨を呼ぶ魔法?!~ためて学ぼう「水」の循環~	大分県土木建築部河川課	令和6年7月24日	体験型子ども科学館O-Labo(大分市)
70	見て!感じて!体験しよう!! 県漁協佐賀関支店裏側ツアー	子ども体験型共育実行委員会	令和6年8月4日	大分県漁業協同組合佐賀関支店荷捌施設(大分市)
71	令和6年度「安心・安全な魚 現地研修会」	大分県水産養殖協議会	令和6年9月24日、10月31日、11月11日	津久見市四浦~佐伯市上浦
72	海で遊ぼう!ライフセーバーが教える海の楽しみ方	大分県生活環境部自然保護推進室	令和6年8月4日	田ノ浦ビーチ(大分市)
73	臼杵干潟アサリ復活プロジェクト 体験ツアー	大分県総務部中部振興局	令和6年8月1日、8月22日	臼杵市役所中会議室、臼杵干潟、さしう浜公園周辺
74	宇佐市長洲「浜の市」	宇佐市長洲「浜の市」実行委員会	令和6年10月27日	長洲魚市場(宇佐市)
75	大分県森林組合職員連合会大会 清掃活動	大分県森林組合職員連合会	令和6年9月6日	田ノ浦ビーチ(大分市)
76	うすき海の幸フェア	うすき海のほんまもん漁業推進協議会	令和6年9月1日~10月31日	臼杵市内 地魚認定店11店舗
77	第41回関の鯛つりおどり大会 第6回関の鯛つり唄日本一大会 第30回WOC大漁おし初め大会	特定非営利活動法人さがのせき まちづくり協議会	令和6年9月14日	佐賀関市民センター、大分県漁業協同組合 佐賀関支店荷捌施設(大分市)
78	第36回全国なぎさシンポジウムin大分	大分県土木建築部河川課	令和6年10月8日、10月9日	ホルトホール大分(大分市)
79	第6回大神魚市場感謝祭	大分県漁業協同組合日出支店	令和6年10月12日	大神漁港(日出町)
80	令和6年度おおいた食育農林漁業体験in北部(水産業見学ツアー)	北部地域食育推進連絡協議会	令和6年9月28日、10月12日	高田魚市場など(豊後高田市)
81	2024大神うまいもの収穫まつり	大神活性化推進協議会	令和6年11月17日	糸ヶ浜海浜公園駐車場及び周辺(日出町)

広報活動等

No.	行事名	主催者	開催年月日	開催場所
82	第43回全国豊かな海づくり大会 ～おんせん県おおいた大会～記念 第4回「別府温泉とまちまち博」	日本風景街道おおいたの海への道推進協議会	令和6年10月12日～10月14日	トキハ別府店ブルーテラス(別府市)
83	ぎつぎお魚まつり	杵築市水産物消費推進協議会	令和6年9月28日	美濃崎漁港(杵築市)
84	海岸清掃活動。拾得物による モニュメント作成	大分県立大分工業高等学校	令和6年9月28日	小志生木海岸など(大分市)
85	第83回大分県発明くふう展	大分県	令和6年9月17日～9月22日	大分県立美術館OPAM(大分市)
86	田ノ浦ビーチクリーン	ガールスカウト大分県連盟第25団	令和6年9月29日	田ノ浦ビーチ(大分市)
87	一般社団法人日本サップ協会 2024年西日本選手権大会 別府湾湯けむりサップマラソン2024	NPO法人大分マリンスクウェア (別府湯けむりサップマラソン大会 実行委員会)	令和6年10月5日～10月6日	餅ヶ浜海浜公園及び沖合(別府市)
88	令和6年度 大分県協同組合 協議会地域貢献活動	大分県協同組合協議会	令和6年10月29日	別府港第4埠頭(別府市)
89	別府ライオンズクラブ清掃奉仕	別府ライオンズクラブ	令和6年10月26日	上人ヶ浜公園(別府市)
90	いただきます! おおいたの海の幸 キャンペーン	大分県農林水産部漁業管理課	令和6年9月27日～11月30日	大分県内の対象店舗の鮮魚売場
91	九電工「さわやかコミュニティ活動」 ～ありがとう、日ごろの感謝を届けます～	株式会社九電工 大分支店	令和6年10月16日	神崎海水浴場(大分市)
92	大野川河岸清掃活動	「美しきOITA」海と川 水への利用促進協議会	令和6年10月19日	大野川川添橋付近(大分市)
93	つくみ秋フェスタ'24(第42回津久見ふる さと振興祭 第29回つくみ「活き粋ぎ」フェア)	津久見市ふるさと振興祭実行委員会	令和6年10月26日	つくみん公園(津久見市)
94	第47回「みんなの消費生活展」	大分市消費団体連絡協議会	令和6年11月9日	ガレリア竹町ドーム広場(大分市)
95	令和6年度 うみうみ教室	日出町農林水産課	令和6年10月20日	日出町中間育成施設(日出港)及びアマモ 群生地(日出港沖)
96	第21回姫島車えび祭	姫島村	令和6年10月20日	姫島港フェリー広場
97	第2回Clean活動デーin祖母・傾・ 大崩ユネスコエコパーク	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク 推進協議会	令和6年11月3日	道の駅宇目(佐伯市)、神の里交流センター 緒環(竹田市)、原尻の滝(豊後大野市)など
98	秋の魚市場祭り	地方卸売市場 株式会社高田魚市場	令和6年11月17日	高田魚市場場内(豊後高田市)
99	さかのせきふるさとまつり	特定非営利活動法人さかのせき まちづくり協議会	令和6年10月27日	佐賀関市民センターふれあい広場(大分市)
100	田ノ浦ビーチクリーン ～うみとごみの学習会	生活協同組合コープおおいた	令和6年11月4日	田ノ浦ビーチ(大分市)
101	大分市工場夜景クルーズ	大分市観光課	令和6年11月9日～11月10日	別府湾沿岸部



No.17 第43回全国豊かな海づくり大会
～おんせん県おおいた大会～
応援テーマ展示「大分県産『豊』流魚」



No.27 大分県協同組合協議会地域貢献活動



No.40 うすき水産シンポジウム



No.58 ビルの上の社交場



No.68 マリンスクール'24



No.70 見て!感じて!体験しよう!!
県漁協佐賀関支店裏側ツアー

ラジオ・テレビ番組

ラジオ

放送局	放送日
OBS 「矢野大和の宮司と “対話”日本のこころ」	令和5年10月20日(金)
	令和5年10月27日(金)
	令和6年10月11日(金)
	令和6年10月18日(金)



放送局	放送日
OBS 「情熱ライブ!Voice」	令和5年11月 2日(木)
OBS 「えとう窓口のエンジン全開」	令和6年 5月 17日(金)
FM大分「ままともラジオ」	令和5年11月 10日(金)



テレビ

放送局	放送日
TOS 「ゆ〜わくワイド」	令和5年10月31日(火)
	令和6年 8月 2日(金)
	令和6年 9月 25日(水)
	令和6年10月 16日(水)
	令和6年10月 18日(金)
	令和6年10月 29日(火)
	令和6年10月 30日(水)
	令和6年10月 31日(木)
	令和6年11月 11日(月)
TOS 「サタデーパレット」	令和5年10月 7日(土)
	令和5年10月 14日(土)
	令和5年10月 21日(土)
	令和5年10月 28日(土)
	令和5年11月 4日(土)
	令和6年10月 12日(土)
令和6年11月 9日(土)	

放送局	放送日
TOS 「O!TAめじろおし」	令和5年10月 14日(土)
	令和6年10月 26日(土)
TOS 「コレ、いいね!」	令和6年 4月 20日(土)
OBS 「オオイタコレクション」	令和6年10月 28日(月)
OAB 「5スタ」	令和4年12月 13日(火)
	令和6年 4月 19日(金)



TOS サタデーパレット 令和5年11月4日(土)生放送
「1年前プレイベント」

PR 動画

大会の開催を県民へ広く周知するとともに、大会ホームページへの流入を増やすため、PR動画を作成し、デジタルサイネージやテレビCM等で放映しました。

1. 内容

大会テーマ「つなぐバトン 豊かな海を 次世代へ」を表現するため、第1回大会から受け継がれてきた大分の豊かな海や川で育まれた海の幸を獲る漁師、美味しそうに頬張る子どもの様子とともに、大会名称や開催場所、時期等の大会概要について15秒の動画で紹介しています。

2. 放映場所

- ・ JR大分駅大型ビジョン・ストリートビジョン
- ・ 大分空港デジタルサイネージ
- ・ タクシーサイネージ(タクテル)
- ・ 県庁舎本館1階デジタルサイネージ
- ・ 協賛企業サイネージ(大分県信用組合・大分銀行・大分みらい信用金庫)
- ・ デジタルサイネージ「わが街NAVI」(パークプレイス大分)
- ・ テレビCM(テレビ大分、ケーブルテレビ)

など





つなぐバトン 豊かな海を 次世代へ



第43回 全国 豊かな海づくり大会
 ~おんせん県おおいた大会~



令和6年 11月9日(土)・10日(日)

開催地

式典行事
 iichiko総合文化センター
 iichikoグランシアタ
 (大分市)

海上歓迎・放流行事
 別府港第4埠頭
 (別府市)

関連行事
 大分市・佐伯市・中津市



大会広報鳥
 めじろん

【公式ホームページ】

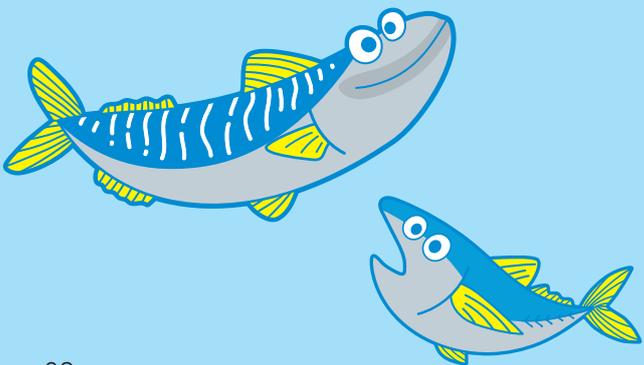
【公式Instagram】



海づくり大会 大分県

検索

主催：豊かな海づくり大会推進委員会 / 第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会 後援：農林水産省 / 環境省
 お問い合わせ先：第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会事務局(大分県全国豊かな海づくり大会推進室内) 〒870-8501 大分市大手町3-1-1(大分県庁舎本館8階) Tel:097-506-3927





資料編

功績団体表彰

各部門受賞団体一覧

部門名	賞名	都道府県	団体名
栽培漁業部門	大会会長賞	大分県	大分県漁業協同組合別府湾地区4支店 (大分・別府・杵築・日出)
	農林水産大臣賞	三重県	赤須賀漁業協同組合
	環境大臣賞	北海道	サロマ湖養殖漁業協同組合
	水産庁長官賞	山梨県	小菅村漁業協同組合
資源管理型漁業部門	大会会長賞	大分県	大分県漁業協同組合姫島支店
	農林水産大臣賞	茨城県	大洗町漁業協同組合
	環境大臣賞	千葉県	銚子市漁業協同組合小型底曳部会
	水産庁長官賞	佐賀県	佐賀県有明海漁業協同組合大浦支所投網業者会
漁場・環境保全部門	大会会長賞	富山県	富山県立滑川高等学校 海洋クラブ
	農林水産大臣賞	大分県	大分県漁業協同組合津久見支店
	環境大臣賞	沖縄県	恩納村コープサンゴの森連絡会
	水産庁長官賞	長崎県	壱岐市磯焼け対策協議会



作品コンクール

作文

応募資格：大分県内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校（小学部、中学部、高等部）の児童・生徒

- 募集部門：1. 小学校低学年の部（1年生～3年生）
2. 小学校高学年の部（4年生～6年生）
3. 中学校の部
4. 高等学校の部

募集期間：令和6年4月1日（月）～5月31日（金）

題材：「海」、「川」、「森」、「水産業」に関するもの。
（海・川・森での体験や思い出、海・川の幸や水産業について思うこと、豊かな海を次世代に引き継いでいくためにできることなど）



応募実績

小学校低学年の部	小学校高学年の部	中学校の部	高等学校の部	合計
62点	181点	112点	1,397点	1,752点

1. 小学校低学年の部

賞名	題名	学校名	学年	氏名
大会会長賞	ぼくたちの海をまもろう	大分市立大道小学校	2	中園 瑛斗
農林水産大臣賞	ぼくは魚をまもりたい	大分市立敷戸小学校	2	小原 大河
環境大臣賞	大すきな海を守ろう	大分市立竹中小学校	3	後藤 杏奈
水産庁長官賞	パパといっしょに魚釣り	佐伯市立佐伯小学校	2	成迫 基
大分県知事賞	のこしたいぼくの大すきなつるみのお魚	佐伯市立松浦小学校	3	甲斐 唯真
入選	海のみらいのために思うこと	学校法人別府大学 明星小学校	2	今木 由希乃
	海	大分市立明野北小学校	3	亀井 のどか
	ぼくが大好きなつるみの魚たち	佐伯市立松浦小学校	3	桑原 大河
	すごい！つるみの海	佐伯市立松浦小学校	3	塩月 風花
	海の思い出	佐伯市立佐伯小学校	3	御手洗 悠

作品コンクール

2. 小学校高学年の部

賞名	題名	学校名	学年	氏名
大会会長賞	おじいちゃんが教えてくれたこと	大分市立敷戸小学校	6	安部 祥太
農林水産大臣賞	あゆが元気に泳ぐ三隈川に	日田市立日隈小学校	5	河津 愛梨
環境大臣賞	カブトガニが教えてくれたこと	豊後高田市立桂陽小学校	4	河野 陸之丸
水産庁長官賞	豊かな自然をいつまでも	国東市立富来小学校	5	中本 美心
大分県知事賞	海を楽しんで学んだこと	国東市立旭日小学校	6	松本 海優
入選	ぼくの夢は海洋生物学者	大分市立金池小学校	5	岡田 悠助
	守りたい大分県	大分市立春日町小学校	5	片岡 忠泰
	身近な海と川	別府市立春木川小学校	5	木村 悠人
	初めて海に入った時の気持ち	大分市立西の台小学校	4	曾根崎 月
	ひがたの生き物たちとくらす世界	大分大学教育学部附属小学校	5	西嶋 千尋

3. 中学校の部

賞名	題名	学校名	学年	氏名
大会会長賞	クヌギがつなぐ人と自然	大分市立竹中中学校	1	後藤 優奈
農林水産大臣賞	海と共に生きる	佐伯市立彦陽中学校	3	梅田 琉之介
環境大臣賞	山と海のつながり	佐伯市立宇目緑豊中学校	2	小野 初音
水産庁長官賞	わが家のアジフライ	大分県立大分豊府中学校	2	手島 悠希
大分県知事賞	僕の住んでいる島の自然	姫島村立姫島中学校	3	谷 吏輝
入選	これからの地球は	姫島村立姫島中学校	2	磯谷 愛里
	海とつながる私達の生活	臼杵市立野津中学校	2	後藤 咲月
	大分はたくさん色でできている	大分大学教育学部附属中学校	2	西嶋 奏人
	海が好きになった	大分市立植田東中学校	2	西畑 結菜
	落ちていたシーグラス	大分市立鶴崎中学校	3	山下 惟愛

4. 高等学校の部

賞名	題名	学校名	学年	氏名
大会会長賞	海と人をつなぐこと	大分県立大分舞鶴高等学校	2	塩手 秀丞
農林水産大臣賞	島唯一の高校生の思い	大分県立海洋科学高等学校	3	丸山 海星
環境大臣賞	海と私たちの繋がり	大分県立高田高等学校	3	大石 理子
水産庁長官賞	感動を次の世代につなぐために	大分県立大分舞鶴高等学校	2	本木 悠喜
大分県知事賞	山の幸「ハゼ」	大分県立宇佐産業科学高等学校	3	佐々木 優羽
入選	見えなくても、生かされている	大分県立大分上野丘高等学校	1	岩下 真理華
	海に手を伸ばす	大分県立大分上野丘高等学校	2	甲斐田 湖珀
	一輪の花	大分県立杵築高等学校	2	佐藤 葵
	海から受け取る芸術	大分県立大分豊府高等学校	2	曲 佐和子
	海をつなぐ	大分県立高田高等学校	3	渡邊 徠華

大会会長賞受賞作品

小学校低学年の部

ぼくたちの海をまもろう

ぼくは、海の生きものの本や図かんを読むことが大好きです。その本の中で、ぜつめつしそうな生きものがたくさんいることを知って、とてもかなしくなりました。さらにその原因が、人間が海の生きものをつかまえず、海をよごしていることが間だいたと知って、このままでは海から魚がいなくなってしまうのではないかとこわくなり、海をいじめる人間をゆるせないと思えるようになりました。

夏休みにセーリング体けんで海へ行った時のことです。さい後にみんなでゴミひろいをしたのですが、プラスチックなどのゴミがあまりおちていませんでした。でも、それは海をきれいにしてくれている人がいるからだとしてセーリングの先生に教わりました。自分たちが気もちよくつかうためだけではなく、海や魚をまもるためでもあるのだと気づきました。

また、ある日テレビでSDGsのアニメをやっていて、「十四番、海のゆたかさをまもろう!」と言っていました。ぼくはその言ばは、魚たちが自由に生きられる世界をつくろうといういみだと考え、自分に何ができるかもっとしらべてやってみたくなりました。今、家そくとすでにやっていることをしょうかします。

まず、プラスチックゴミを出さないために、あまりペットボトルは

大分市立大道小学校2年 中園 瑛斗

買わず、お出かけするときは、かならず水とうをもっていきます。ペットボトルを買ったときは、すてる前に自分のおもちゃを作るざいりょうとして使い、さい後にきちんと分べつしてすてています。

つぎに、ビニールぶくろやスプーンも買わず、マイバッグを使うようにしています。外でごはんを食べる時は、自分のはしやフォークを家からもって行きます。学校でもわりばしを使わなくてすむように、おはしをわすれず、使ったビニールぶくろはゴミぶくろとしてもう一ど使います。どんなものでも大切に使うことが海をまもることにつながると思います。

海の生きものは一どぜつめつしてしまうと、もう二度ともどつてくることはありません。ぼくたちはぜつめつしそうな魚たちをまもることができるはずで

す。ぼくはセーリング体けんや本、テレビでべん強したことを実さいのくらしの中でも活かして、海にやさしいことをこれからも見つけていきたいと思ひます。そして、ぼくは魚を食べることが大好きなので、おいしい魚をとってくれる人たちにかんしゃしたいです。ここに書いた気もちをわすれないように、これからも海の本を読み続け

ます。ぜつめつしそうな魚たちを、ぼくたちの手でまもりましょ

小学校高学年の部

おじいちゃんが教えてくれたこと

去年の九月二十九日は、中秋の名月でした。ちょうどその日が満月だということで、家族で別府湾に月を見に行きました。夕方、着いた頃にはまだ辺りは明るかったけれど、だんだん暗くなってきて、真っ暗な海の上に月が浮かんでいました。遠い水平線から、海に反射した月の光が、まるで僕に向かって道が伸びているみたいで、本当にきれいでした。広い海と月明かりは、とてもきれいで、きっと僕の心に残り続ける美しい景色です。そんなすばらしい自然がすぐ近くにあるということに僕は気が付きました。

しかし、そんな豊かな自然は、何もせずに守られているわけではありません。僕のおじいちゃんは、大分県の最南端にある佐伯市の蒲江という所で漁をしていました。おじいちゃんの家に行くと、船で沖まで連れて行ってくれました。海は広くて、船に乗っていると、僕も風になったみたいで、最高の気分です。

だけれど、ある時、船の上から海を眺めていたら、釣り糸が絡みついて死んでしまった魚がぶかぶか浮かんでいました。おじいちゃんの釣った魚を食べるのが大好きなのに、死んでしまったその魚は、すごくかわいそうに見えました。港に戻った後、その日の浜辺には、ごみが大量に流れついていました。

なぜ、今日は海が汚れているのか尋ねたら、「潮の流れや天候によって、浜に流れ着くものは違うよな。じいじたちは、時々、みんなでお掃除に行くんで。」と、教えてくれました。そこで、僕も「海のお掃除」について行くことにしました。

海岸に着くと、漁師仲間の人たちが集まっていました。みんな、手にビニール袋や火ばさみを持っていて、袋いっぱいにごみを捨てていました。浜辺には、木材や海藻みたいなものと一緒に、ごみがたくさんありました。瓶やペットボトルには、まだ中身が入っているものがたくさんあって、ふたを開けて黒く変色した液体を砂の上にこぼ

大分市立敷戸小学校6年 安部 祥太

してから回収しました。試しに臭いを嗅いでみたら、とんでもない悪臭でした。使い捨てのおむつも、海水を吸収して巨大になっていました。軍手をしていても、触るのに勇気がいりました。中でも、僕が一番びっくりしたのは、外国から流れ着いたものがたくさんあったことです。住所が書いてあるものがあつたので、大分からの距離を調べてみたら、大分から千km以上離れた場所から漂流してきたものでした。海は、世界中の色んな国とつながっていて、ある国のごみが僕たちの海を汚してしまうことがあるし、逆に、自分たちが出したごみが、他の国の海を汚してしまうこともあるんだと気が付かされました。

誰も行動を起こさずに、このまま放置していたら、海はますます汚染されて取り返しのつかないことになってしまいます。海洋汚染には、気候変動や森林伐採など、様々な問題が関係していて、個人の出すごみが全ての原因ではありません。だけれど、一人ひとりにもできることは、たくさんあります。あの日、僕たちが集めたごみは、十二袋もありました。たった一人でできることは、わずかかもしれないけれど、それでも、確かに浜はきれいになりました。

「祥太くん、じいじたちはなあ、ただ魚を捕りよるだけじゃないんで。こうやって海を守ると、たくさんの魚が育つから、長く魚を捕り続けられる海になるんで。」

笑顔でそう言ったじいじは、もうこの世にはいません。もう会うことはできないけれど、目をつぶって思い出すと、おじいちゃんが、僕にすごく大切なことを教えてくれていたことに、気が付かされました。だからこそ、次は僕の番です。おじいちゃんが守ってきた海を、僕も守っていきたくひです。豊かな海を守るためにできることを探して、僕も実行していきます!

中学校の部

クヌギがつなぐ人と自然

私の住んでいる地域では椎茸が栽培されており、祖父の手伝いや、地域の方々に準備していただき、家や学校で駒打ち作業の体験をしたことがある。そして、小学校卒業前の三月に収穫もした。駒打ちの経験が何度もあっても、クヌギ林が近づくにつれて、駒打ちの準備段階は一度も見たことがなかった。さらに、収穫し終わったクヌギがどうなるのかも知らなかった。

大分県のクヌギ林の面積は日本一であることをご存じだろうか。大分県内では国東半島宇佐地域のクヌギ林が一番広い。これは、椎茸栽培や薪炭用材として役立つクヌギをたくさん植林していたからである。このクヌギは国東半島宇佐地域の大切な水資源を守る重要な役割を果たしている。

国東は瀬戸内気候であり、県内で最も降水量が少ない。そのため、農業に使用する水が安定的に取れなかった。そこで、谷の多い地形を利用し、ため池を利用するようになった。ここで活躍しているのがクヌギ林だ。緑のダムとなり、ため池に貯まる水を安定させ、川の水量を調節し、水をかん養しているのだ。

このクヌギも成長すると伐採される。しかし、クヌギは切った根株から芽が出て、十五年で再生する。そのため、クヌギ林はずっと変わらないのだ。

伐採したクヌギは、主に大分の名産品である、椎茸の栽培に利用されている。ほだ木と呼ばれる短く切ったクヌギに、種駒という椎茸の種になる部分を打ち込んでいく。椎茸栽培に使用したほだ木は落ち葉などと共に腐植して、ミネラル豊富な土となる。その土は、水の中に貯めておける「保水層」を作り、土のミネラルをたくさん吸い込んだ水が、ため池から田畑へ流れ農業に利用され、そして川から海へと注ぐ。クヌギのサイクルが農業をより良くしているのだ。クヌギ林とため池は、農林水産業の循環に大きな役割を果たしており、更にはその美しい景観から、平成二十五年に「世界農業遺産」に認

大分市立竹中中学校1年 後藤 優奈

定された。私はそれについて調べたことで、初めてクヌギのサイクルを知り、とても感動した。

「世界農業遺産」とは、伝統的な農業とそれに関わって生まれた文化、土地利用、技術、景観、そして、生物多様性の保全などの点から世界的に重要な地域が認定されている。

国東半島宇佐地域のクヌギ林とため池は、世界的な視点から見た場合、自然と人間がバランスを取り、農林水産業が循環できるような管理がなされていることが、評価されている。自然を管理するために加えられた「手」が結果として、自然を守っているのだ。

私は幼い頃から自然豊かな土地で育ってきた。祖父母や地域の方の多くが、農業をしている姿を見たり、手伝ったりしてきた。しかし、同時に耕作放棄地や杉林に変わってしまった田畑も見えてきた。その上で、「手」を加えていくことも、今ある自然の美しさを引き継いでいくことも大切だと実感している。「手」を加えなければ、自然は荒れ、恵が受けられなくなり、「手」を加えすぎると自然が失われてしまうのではないかと、私は思う。

国東半島宇佐地域は、今ある自然が自らうまくバランスをとり、農林水産業に活着していると感じる。ただ、そこには見えないところで人々による必要な「手」が加わることで、林やため池といった今ある自然のバランスを保っている。この土地に伝統的農業や文化が息づいている限り、持続可能な土地利用と、美しい景観がこの先も守られていくのだろう。

これは、クヌギ林だけに限ったことではない。その他の様々な自然や地域にも言えることだ。自然を知り、自然を活かしながら、丁寧に「手」を加えることが、生命の多様性や海、山、川などたくさんの自然、そして私達の住む地球を守ることにつながるのではないだろうか。私はそう思う。

高等学校の部

海と人をつなぐこと

私の祖父はバスで魚を売るという仕事をしています。朝三時に起きて市場に行き、魚や氷を買って魚を売る準備をします。バスの中には、魚を捌く場所や魚の新鮮さを保つためのたくさんの氷を入れる場所などがあります。幼い頃は、両親が共働きだったので、よく祖父のバスに乗せてもらい、一緒に魚を売っていました。祖父の魚を捌く姿は職人のようであって、小さい頃の私の憧れそのものでした。大晦日には、家族全員で祖父の手伝いをし、正月明けに向けて準備していた時間はかけがえのないものでした。私にとって祖父の仕事は、まさに海と人をつないでくれる仕事だったのです。

しかし、そんな祖父も近年、地球温暖化や海洋汚染の影響でなかなか魚を仕入れることができず、仕事をすることができない日々が続いています。また、少子高齢化やデジタル化が進んで行く中で、漁師や市場で働く人の数は年々減っていき、高齢化率が上がっている状況です。実際に市場に行ってみても若い人は少なく、施設も古いままです。このままの状態が続いていくことになれば、新鮮な魚を食べる機会も減っていき、人間と海とのつながりが薄れてしまうのではないかと感じます。

人間と海とのつながりを保つために、私たちに何ができるのか、考えてみました。それは大きく分けて三つ挙げられます。

一つ目は、海洋環境の改善です。今の状態としては、海岸にペットボトルやビニール袋などが落ちていたりするのは当たり前状態となっています。他にも、船から出される油による汚れや温暖化による水温の上昇などもあります。これらを改善するためには、普段からゴミの分別やポイ捨てをしないようにすることが個人としてできることだと考えます。温暖化の改善やゴミの回収といったことは、個人が何かを行っても簡単に変化するものではありません。その

大分県立大分舞鶴高等学校2年 塩手 秀丞

ため、政府や県が行っている活動などをまずは知ることから始め、だんだんとそれを支持・支援していくことが大切だと考えます。

二つ目は、魚の養殖やブランド化に力を入れることです。近年のような魚があまり獲れない状態では改善すると言ってもかなり長い時間を必要とします。また、海産物は有限な資源であり、獲り過ぎていては量がどんどん減ってしまいます。そのため、養殖に力を入れることで天然の魚にも劣ることのないおいしい海産物を得ることができるのではないかと考えます。現在、大分ではかぼすブリやかぼすヒラメといった養殖魚がかなり広がっています。私も何度も食べていますが、どちらもカボスの香りがほんのりとして、とてもおいしい魚だと思います。かぼすブリやかぼすヒラメは、大分のブランド魚であり、近年その名前も全国的に知られてきています。ブランド化にも力を入れることで人々が知り、興味を持ってくれるため、海とのつながりもより深まっていくのではないかと考えます。

三つ目は、海に関わる仕事の魅力化です。海に関する仕事をする人が減ってしまうと、海産物を味わう機会が減ってしまいます。それだけでなく、海洋問題も改善されにくくなり、人と海とのつながりは悪い面だけとなってしまいます。それを防ぐためにも、魅力的な部分を増やすことが大切だと考えます。例としては、設備をより良くすることや、販売方法の多様化、海に関することの発信を増やすことなど、様々なものが挙げられます。

このように、海と人とのつながりを保つには、やるべきことが多くあります。海洋資源を減らさないようにするだけでなく、増やす活動も行うことで、昔のような海の豊かさを守ることができると思います。憧れていた祖父の姿をもう一度見る日が来る日が、私の一番の願いです。

作品コンクール



大分市立大道小学校2年 中園 瑛斗



大分市立敷戸小学校6年 安部 祥太



大分市立竹中中学校1年 後藤 優奈



大分県立大分舞鶴高等学校2年 堀手 秀丞

作品コンクール

絵画

応募資格：大分県内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程に限る)及び特別支援学校(小学部、中学部)の児童・生徒

- 募集部門：1. 小学校低学年の部(1年生～3年生)
2. 小学校高学年の部(4年生～6年生)
3. 中学校の部

募集期間：令和6年4月1日(月)～5月31日(金)

題 材：「海」、「川」、「森」、「水産業」に関するもの。(海・川・森での体験や思い出、海・川の幸や水産業について思うこと、豊かな海を次世代に引き継いでいくためにできることなど)

応募実績

小学校低学年の部	小学校高学年の部	中学校の部	合計
1,743点	928点	263点	2,934点

1. 小学校低学年の部

賞名	題名	学校名	学年	氏名
大分県知事賞	たこがづれたよ	別府市立亀川小学校	3	吉野 陽菜
大分県教育委員会教育長賞	きれいな大分の海	大分市立碩田学園	2	北宅 湊
大分県漁業協同組合代表理事組合長賞	だいすきなまぐろ	大分市小中一貫教育校 賀来小中学校	1	田中 航大
入選	海からのおくりもの	大分市立明治北小学校	3	戸畑 穂乃花
	かがやくうみ	大分市立寒田小学校	1	名村 縫
	きれいな海いつまでも	佐伯市立下堅田小学校	3	疋田 康紘

2. 小学校高学年の部

賞名	題名	学校名	学年	氏名
大分県知事賞	自然の美しさを大切に	中津市立沖代小学校	6	橋内 心奏
大分県教育委員会教育長賞	豊かな海	臼杵市立野津小学校	6	流 大智
大分県漁業協同組合代表理事組合長賞	集合！ぼくの街の特産品	佐伯市立佐伯小学校	4	神田 怜
入選	いのちがいっぱい かがやく海	豊後高田市立戴星学園	4	白川 槻奈
	山から川、そして海へ	大分市立神崎小学校	6	伏見 優奏
	成長したらまた会おう	大分市立別保小学校	4	黒川 遥真

3. 中学校の部

賞名	題名	学校名	学年	氏名
大分県知事賞	海と生きてゆく	大分市立植田中学校	3	前田 百花
大分県教育委員会教育長賞	海の宝石	別府市立別府西中学校	3	日野 心美
大分県漁業協同組合代表理事組合長賞	地球の海	大分市立上野ヶ丘中学校	3	関 理彩子
入選	海にかえそう	別府市立朝日中学校	2	安藤 優希菜
	関アジトライアスロン	学校法人岩田学園 岩田中学校	2	矢野 功一郎
	夕凧	日田市立北部中学校	2	棕本 瑚々実

作品コンクール

大分県知事賞受賞作品



小学校低学年の部

たこがつれたよ
別府市立亀川小学校3年 吉野 陽菜



小学校高学年の部

自然の美しさを大切に
中津市立沖代小学校6年 橋内 心奏



中学校の部

海と生きてゆく
大分市立植田中学校3年 前田 百花



作品コンクール

習字

応募資格：大分県内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程に限る)及び特別支援学校(小学部、中学部)の児童・生徒

募集部門：1. 小学校低学年の部(1年生～3年生)
2. 小学校高学年の部(4年生～6年生)
3. 中学校の部

募集期間：令和6年4月1日(月)～5月31日(金)

題 材：小学校低学年の部(1年生～3年生)「うみ」
小学校高学年の部(4年生～6年生)「豊かな海」
中学校の部 「海の恩恵」

応募実績

小学校低学年の部	小学校高学年の部	中学校の部	合計
567点	2,336点	1,662点	4,565点

1. 小学校低学年の部

賞 名	学校名	学年	氏 名
大分県知事賞	日出町立大神小学校	3	佐藤 美月
大分県教育委員会教育長賞	大分市立明野西小学校	2	菊池 心之介
大分県漁業協同組合代表理事組合長賞	中津市立豊田小学校	1	溝口 碧花
入選	大分市立東大分小学校	3	森谷 咲月
	学校法人別府大学 明星小学校	3	加藤 大司
	臼杵市立市浜小学校	3	遠藤 なごみ

2. 小学校高学年の部

賞 名	学校名	学年	氏 名
大分県知事賞	大分市立下郡小学校	5	千原 彩葉
大分県教育委員会教育長賞	大分市立城南小学校	6	川内 桜諒
大分県漁業協同組合代表理事組合長賞	大分大学教育学部附属小学校	6	大畑 奏乃
入選	中津市立豊田小学校	6	永松 舞子
	大分市立南大分小学校	6	石井 咲名
	臼杵市立下北小学校	5	村上 翔星

3. 中学校の部

賞 名	学校名	学年	氏 名
大分県知事賞	大分大学教育学部附属中学校	2	木村 心鈴
大分県教育委員会教育長賞	豊後大野市立三重中学校	2	後藤 瑠花
大分県漁業協同組合代表理事組合長賞	大分大学教育学部附属中学校	3	高橋 琉留
入選	中津市立中津中学校	3	松尾 桜子
	佐伯市立佐伯南中学校	1	竹尾 桜蘭
	日田市立戸山中学校	3	小袋 吏緒

大分県知事賞受賞作品



小学校低学年の部

日出町立大神小学校3年 佐藤 美月



小学校高学年の部

大分市立下郡小学校5年 千原 彩葉



中学校の部

大分大学教育学部附属中学校2年 木村 心鈴



大分合同新聞 20面
令和5年9月1日掲載
(大分合同新聞提供)

森川海つながり実感



県内の小学生が森川海を清掃する様子。保護者も参加し、森川海をきれいに保つための活動が行われた。

県内の小学生が森川海を清掃する様子。保護者も参加し、森川海をきれいに保つための活動が行われた。

大分合同新聞 10面
令和5年9月19日掲載
(大分合同新聞提供)

キティちゃんも 奈多海岸を清掃

親子20人ら参加

【梓葉】梓葉市の奈多海岸で16日、「親子キティちゃん」一緒に海岸清掃があった。

来秋に開かれる「国豊かな海づくり大会」おんせん県おおいた大会への関連



キティちゃんも参加する清掃活動の様子。

（三ツ尻正二会長）が催した。親子20人と、同協賛員30人、日田町のハイムーランドからキティちゃんも参加。奈多地区地区民泊協議会（木村謙次郎会長）などの加勢を受けながら、海岸に散らばる流木やワラシチンなどを拾った。

（藤内賢治）

みなと新聞 5面
令和5年11月7日掲載
(みなと新聞提供)

海づくり大分大会へ盛り上げ 開催1年前で漁船団パレード

【大分】2024年11月10日に大分県内で開催される「第43回全国豊かな海づくり大会」おんせん県おおいた大会の1年前イベント「おおいた海博」が10日、別府市の別府国際観光港であった。大会本番に向けて式典行事と海上歓迎・放流行事を実施。また、機運醸成を図るため、会場では大分県漁協の支店らによる魚介類の試食・販売、魚のつかみ取りなどのイベントがあり、多くの人がにぎわった。

式典では佐藤樹一郎大分県知事がこれからの豊かな分県知事が「ついでに海づくりを全国に発信する漁業のさらなる取り組み」とあいさつ。来み、水産物の消費拡大、資の大分県選出の岩屋毅海洋プラスチック問題対策、衆院議員、坂康之水産庁次長など、県民総参加で創増殖推進部長が祝辞を寄せた。

また、大分高校書道大会テーマ「なべハト道部が大型キャンパスにン豊かな海を次世代へ」



漁船団による漁法紹介パレード



大分高校書道部が大型キャンパスに大会テーマを描いた



佐藤知事(中央)ら関係者が稚魚を放流した

の文字と大きな魚の絵を描いた書道パフォーマンス披露した。海上歓迎行事では、大漁祭飾り付けた60隻ほどの漁船団が別府湾パレード。船引網一本釣りの漁船団が別府湾の目や野網などの漁船も登場し、大分県内で行われ、絵画コンクールの入選作品の展示などがあった。

放流行事はマイドモコガレイ稚魚を関係者約200人が海に放した。会場では水産物を振る舞うイベントの他、さかなのトークショー、おおいた県産魚の日や野網などの漁船も登場し、大分県内で行われ、絵画コンクールの入選作品の展示などがあった。

大分合同新聞 23面
令和6年4月1日掲載
(大分合同新聞提供)

KEI-KOさんら ナビゲーター役に 海づくり大会実行委

「海づくり大会実行委員会」が、ナビゲーター役にKEI-KOさんらを選んだ。KEI-KOさんは、大分県立総合文化センターで、海づくり大会実行委員会の役員として活動している。KEI-KOさんは、ナビゲーターとして、大会の進行をサポートする。KEI-KOさんは、ナビゲーターとして、大会の進行をサポートする。



式進行には全国からの千人が参加し、水産関係の団体が参加する。KEI-KOさんらナビゲーター役は、大会の進行をサポートする。KEI-KOさんらナビゲーター役は、大会の進行をサポートする。

大分合同新聞 20面
令和6年8月3日掲載
(大分合同新聞提供)

海づくり大会「あと100日」

大分県で カウントダウン開始

11月に県内で開かれる「全国豊かな海づくり大会」の100日前イベントが2日、大分県立総合文化センターで開かれた。県や関係団体などで行った。県や関係団体などで行った。



県や関係団体などで行った。県や関係団体などで行った。県や関係団体などで行った。県や関係団体などで行った。

大分合同新聞 21面
令和6年8月9日掲載
(大分合同新聞提供)

県内巡回計4回 リレー放流、完了

県内巡回計4回、リレー放流、完了。県内巡回計4回、リレー放流、完了。県内巡回計4回、リレー放流、完了。



県内巡回計4回、リレー放流、完了。県内巡回計4回、リレー放流、完了。県内巡回計4回、リレー放流、完了。

大分合同新聞 11面
令和6年9月17日掲載
(大分合同新聞提供)

米水津中生が仕上げ作業

「全国豊かな海づくり大会」へ

米水津中生が仕上げ作業。米水津中生が仕上げ作業。米水津中生が仕上げ作業。



米水津中生が仕上げ作業。米水津中生が仕上げ作業。米水津中生が仕上げ作業。

大分合同新聞 23面

令和6年11月10日掲載

(大分合同新聞提供)

にこやか県民と交流
両陛下がお声かけ

「魚つかみ取り「やった！」
舞台やグルメ、観光行事にぎわう

この日は、大分県庁で、両陛下と県民との交流が盛んに行われた。両陛下は、県民と交流し、お声かけをされた。また、魚つかみ取り大会も盛況で、観光行事も賑わった。

大分合同新聞 1面

令和6年11月10日掲載

(大分合同新聞提供)

両陛下 6年ぶり来県
きょう出席 豊か海の大

漁業施設など訪問

両陛下は、大分県庁で、県民と交流し、お声かけをされた。また、魚つかみ取り大会も盛況で、観光行事も賑わった。

広報制作物等

大会PR・歓迎装飾

JR



ポスター
(大分駅・別府駅・中津駅・佐伯駅に掲出)



大分駅 大型ビジョン



大分駅 ストリートビジョン



大分駅 改札前



大分駅 改札内



大分駅 エスカレーター(全4か所)



大分駅 みどりの窓口前



別府駅 東口・西口



別府駅 改札前



別府駅 改札内



別府駅 油屋熊八像

広報制作物等

大会PR・歓迎装飾

大分空港



シースルーエレベーター



エレベーターホール



正面フロント



手荷物受取所(全4か所)



手荷物受取所

県・市町村・県漁協



県庁舎

(東部振興局・南部振興局・北部振興局でも掲出)



大分市

(その他10市町村でも掲出)



大分県漁協本店

(県水産会館)

府内戦紙 山車



第43回 大分七夕まつり
「大分市職員互助会」

宝くじ



第2474回 西日本宝くじ

オリジナルフレーム切手



「第43回 全国豊かな海づくり大会」
デザイン

大会記念品



- ① アイゴのトトジャーキー【佐伯地区水産振興協議会 協賛品】
- ② マリンフレーク(チリメン)【大分県漁業協同組合 協賛品】
- ③ うまみだけ【大分県椎茸振興協議会 協賛品】
- ④ 蜜衛門【株式会社菊家 協賛品】
- ⑤ 柚子胡椒【有限会社川津食品 協賛品】
- ⑥ 佐賀関くろめ味噌汁
- ⑦ 薬用入浴剤湯の花
- ⑧ シチトウイコースター
- ⑨ お土産袋【株式会社太田旗店 協賛品】

パンフレット等



- ① 大会プログラム
- ② 表彰団体功績概要・作品集
- ③ アイゴのトトジャーキーチラシ
- ④ みなと新聞
- ⑤ 水産経済新聞
- ⑥ おんせん県おおいたたびまっぷ
- ⑦ 別府たび
- ⑧ 会いに行こう、大分市
- ⑨ おおいたすけ
- ⑩ OITA TABLE
- ⑪ ぐるめっぷ
- ⑫ 文化を味わう美食旅

広報制作物等

グッズ類

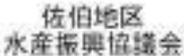


スタッフ用品

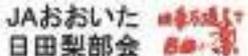
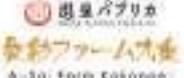
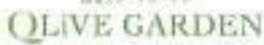


協賛・協力団体等

ご協賛をいただいた皆さま

 JFおおいた	 大分県水産協同組合連合会	 街へ暮らしへ 気持ちいっぱい 大分県信用組合	 大分県水産協同組合連合会 有限会社 川洋食品
 感動を、シェアしたい。 大分銀行	 創業慶應二年 太田旗店 1866	 YANMAR	 健康な体ときれいな水を守る。 シャボン玉向け
 KAISO BANK	 NIPPON STEEL 日本製鉄株式会社	 佐伯地区 水産振興協議会	 OPAM 大分県立美術館 Oita Prefectural Art Museum
一般社団法人 大分県漁港漁場協会	株式会社菊家／大分魚市株式会社／協同エンジニアリング株式会社／大分マリンパレス水族館「うみたまご」／ライトンコスモ株式会社／海洋土木株式会社／海洋建設株式会社／日本漁船保険組合大分県支所／広和株式会社／株式会社豊和銀行／全国漁業信用基金協会大分支所／全国共済水産業協同組合連合会大分県事務所／全国合同漁業共済組合大分県事務所／大分信用金庫／大分みらい信用金庫／大分トヨベツ株式会社／大分県魚市場連合会／大分県漁船造船鉄工協議会／有限会社フラワーうさ		

記念弁当食材協賛

 JFおおいた	姫島車えび養殖 株式会社	 JAおおいた 日田梨部会	
 吉野学園 学食	 おおいちわ	 OITA PREFECTURAL A-30 Farm Egozono	大分県 椎茸振興協議会 
全国農業協同組合連合会 大分県本部	 OLIVE GARDEN	 大分県信用組合 川洋食品	大分県 カボス振興協議会 

飾花プランターカバー協力校

大分県立日田林工高等学校に大会で使用する木製プランターカバーを作製していただきました。



作品展示等協力団体

大分県立美術館(OPAM)において、大会を機に実施した作品コンクール(絵画・習字)の入賞・入選作品を展示していただいたほか、海に関する芸術作品の特集展示「豊かな海と芸術家たち」を行っていただきました。



コンクール作品の展示



特集展示の一部
吉田嘉三郎《海魚図》明治初期

豊かな海づくり大会推進委員会規約

第1章 総則

(名称)

第1条 この委員会は、豊かな海づくり大会推進委員会と云う。

(事務所)

第2条 この委員会は、事務所を東京都中央区新川全漁連内におく。

第2章 目的および事業

(目的)

第3条 この委員会は、全国豊かな海づくり大会を実施することにより、水産資源の保護、増殖の啓蒙、普及および漁場環境の保全を図り、豊かな海づくりに寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この委員会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 全国豊かな海づくり大会の開催
- (2) 水産資源保護増殖に関する啓蒙普及事業
- (3) その他この委員会の目的達成に必要な事業

(中央表彰委員会等)

第5条

- (1) 全国豊かな海づくり大会の表彰行事を行うため中央表彰委員会および中央審査委員会をおく。
- (2) 中央表彰委員会および中央審査委員会の委員は別に定める。

第3章 会員

(会員)

第6条 この委員会の会員は正会員と賛助会員で構成する。

第4章 役員および幹事

(役員および幹事)

第7条 この委員会に会長、副会長、顧問、監事、幹事及び代表幹事をおく。

また、必要に応じ相談役を置くことができる。

- (1) 会長、副会長、顧問、相談役は、委員会で選任・委嘱する。
- (2) 監事は全漁連常勤監事をもってあてる。
- (3) 幹事は正会員団体に所属する役員(各団体1名)で、その団体が推薦した者とする。また、代表幹事は幹事会で選任する。
- (4) 相談役の任期は1年とする。但し、再任を妨げない。
- (5) 顧問のうち、全漁連前会長の任期は、全漁連会長退任後3年とする。

第5章 委員会および幹事会等

(委員会)

第8条

- (1) 委員会は会長が必要と認めるとき招集する。
- (2) 委員会は正会員団体の長またはこれに準ずる者で構成する。

(幹事会)

第9条 委員会の下に幹事会をおき、会長は必要あるとき、幹事を招集する。

(その他の委員会)

第10条 海づくり大会に係る開催のあり方等を検討・整理するため、豊かな海づくり大会あり方検討委員会をおくことができる。

第6章 事業年度

(事業年度)

第11条 この委員会の事業年度は、毎年4月1日から3月31日までとする。

付則

この規約は、令和3年1月12日から実施する。

全国豊かな海づくり大会運営要領

昭和56年 4月30日制定 昭和59年 3月26日改正
 昭和60年 2月4日改正 平成8年 5月14日改正
 平成20年 1月31日改正 平成29年10月24日改正

全国豊かな海づくり大会(以下「大会」という。)の開催、運営に関しては、豊かな海づくり大会推進委員会(以下「本会」という。)の規

約に定めるほか、この要領の定めるところによる。

1. 開催の趣旨

大会は、水産資源維持培養と海その他の水面の環境保全に対する意識の高揚を図るとともに、水産業に対する認識を深めるための幅広い国民的行事として行い、水産業の振興に資する。

2. 開催の主体

- (1) 大会は、本会と開催する都道府県(以下「開催県」という。)との共催とし、大会の会長は、本会最高顧問の衆議院議長とする。但し、衆議院の解散により、大会開催日に衆議院議長が不在の場合は、前衆議院議長を大会会長とすることができる。
- (2) 大会会長が大会出席不能の場合は、あらかじめ大会会長が指名する者を大会会長代理とする。但し、大会会長が大会会長代理を指名することができない場合は、豊かな海づくり大会推進委員会会長が指名する者を大会会長若しくは大会会長代理とする。

3. 開催の申し出

大会の開催を希望する都道府県知事は、書面をもって原則として開催2年前の9月末日までに申し出るものとする。

4. 開催県の決定

本会は、大会の開催県を開催2年前の11月末日までに決定するものとする。

5. 名称

大会の正式名称は、「第〇〇回全国豊かな海づくり大会」とする。

6. テーマ

開催県は、大会の開催に当たって、本会と協議のうえ、開催の場所、都道府県民の意向、都道府県政の方針等を考慮して、大会テーマを定めるものとする。

7. 防災対策

開催県は、大会開催に当たって、津波等の災害対策を講ずるとともに、防災関係当局に積極的に協力していくものとする。

8. その他

この要領に定めるものの他、大会の開催、運営等に関する必要な事項については、本会が定めるものとする。

豊かな海づくり大会推進委員会役員・幹事名簿

令和6年11月10日現在

役職	氏名	所属・役職名
最高顧問	額賀福志郎	前衆議院議長
会長	坂本 雅信	全国漁業協同組合連合会 代表理事会長 (公財)海と渚環境美化・油濁対策機構 理事長 (公社)全国豊かな海づくり推進協会 会長
顧問	枝元 真徹	(一社)大日本水産会 会長
	稲葉 延雄	日本放送協会 会長
副会長	岸 宏	全国漁業協同組合連合会 顧問
	高橋 正征	(公社)日本水産資源保護協会 会長
委員	黒萩 真悟	(一社)漁業情報サービスセンター 会長
	服部 郁弘	(一財)中央漁業操業安全協会 理事長
	渥美 雅也	(一財)東京水産振興会 会長
	廣野 淳	(一社)マリノフォーラム21 代表理事会長
	高吉 晋吾	(公社)全国漁港漁場協会 代表理事会長
代表幹事	谷 公一	全国内水面漁業協同組合連合会 代表理事会長
	三浦 秀樹	全国漁業協同組合連合会 常務理事
幹事	坂本 幸彦	(公財)海と渚環境美化・油濁対策機構 専務理事
	熊谷 徹	(公社)全国豊かな海づくり推進協会 専務理事
	長岡 英典	(一社)大日本水産会 常務理事
	渥美 雅也	(一財)東京水産振興会 会長
	遠藤 進	(公社)日本水産資源保護協会 専務理事
	廣野 淳	(一社)マリノフォーラム21 代表理事会長
	森田 正博	(公社)全国漁港漁場協会 業務執行理事 常務理事
	本田 修	(一社)漁業情報サービスセンター 常務理事
	井澤 由貴	日本放送協会 メディア総局 展開センター チーフプロデューサー
	中奥 龍也	全国内水面漁業協同組合連合会 専務理事
監事	岩山 裕史	全国漁業協同組合連合会 常任監事

第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 この会は、第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会(以下「実行委員会」という。)と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、第43回全国豊かな海づくり大会(以下「大会」という。)を開催するため、必要な事業を行うことを目的とする。

(事業)

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行うものとする。

- (1) 大会の開催に必要な企画及び運営に関すること。
- (2) 関係機関及び団体との連絡調整等に関すること。
- (3) その他目的を達成するために必要な事業に関すること。

第2章 組織

(構成)

第4条 実行委員会は、会長、副会長、委員、監事、顧問及び参与(以下「委員等」という。)をもって構成する。

- 2 会長は、大分県知事を充てる。
- 3 副会長は、大分県漁業協同組合代表理事組合長、大分市長及び別府市長を充てる。
- 4 委員は、別表に掲げる職にある者を充てる。
- 5 監事は、大分県会計管理者、大分市会計管理者及び別府市会計管理者を充てる。
- 6 顧問は、大分県議会議長、大分県議会農林水産委員会委員長、大分市議会議長及び別府市議会議長を充てる。
- 7 参与は、別表に掲げる職にある者を充てる。

(委員等の職務)

- 第5条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたとき及び会長が特定の行為につき委任したときは、その職務を代理する。
 - 3 委員は、この会則に従い議事の審議をする。
 - 4 監事は、実行委員会の財務を監査する。
 - 5 顧問は、大会の運営方針に関し助言する。
 - 6 参与は、大会の情報発信等に関し助言する。

(委員等の任期)

- 第6条 委員等の任期は、実行委員会設立の日から第18条の規定により実行委員会が解散する日までとする。ただし、就任時におけるそれぞれの所属機関又は団体の役職を離れたときは、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。
- 2 会長は、特別の事由があるときは、委員等を解任することができる。

(委員等の報酬及び旅費)

- 第7条 委員等への報酬及び旅費は支給しないものとする。ただし、会長が必要と認めた場合には支給することができる。
- 2 前項ただし書きの規程により報酬及び旅費を支給する場合には、大分県職員の例に準じて支給する。

第3章 会議

(総会)

第8条 実行委員会の会議(以下「総会」という。)は会長が、必要に応じて招集し、その議長となる。

- 2 総会は、次に掲げる事項を審議し、議決する。
 - (1) 会則の制定及び改廃に関すること。
 - (2) 大会の企画及び運営に関する基本事項に関すること。
 - (3) 事業計画及び事業報告に関すること。
 - (4) 予算及び決算に関すること。
 - (5) その他大会の開催に関する重要な事項に関すること。
- 3 総会は、委員等の2分の1が出席しなければ開くことができない。
- 4 委員等は、事故その他のやむを得ない理由により総会に出席できないときは、書面又は代理人をもって議決権を委任することができる。この場合において、前項の規定の適用については、出席したものとみなす。
- 5 総会の議事は、出席した委員等(代理人及び書面を含む。)の議決権の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 6 第3項から前項までの規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当するときは、会長は、第2項各号に掲げる事項について書面により委員等の意見を徴することができる。この場合において、全ての委員等の過半数が当該事項に同意したときは、当該同意をもって総会の議決があったものとみなす。
 - (1) 緊急を要する場合であつて、総会を招集する時間的余裕がないと認められるとき。
 - (2) 災害の発生、感染症のまん延等により総会を招集することが困難と認められるとき。
- 7 会長は、必要に応じて総会に委員等以外の者の出席を求めることができる。
- 8 前項の規定による委員等以外の者の報酬は、「附属機関の委員等の報酬及び費用弁償条例」(昭和31年10月5日大分県条例第74号)第3条第2項に規定する附属機関の委員の受ける報酬の額と同額を支給することができる。
- 9 第7項の規程による委員等以外の者の旅費は、大分県職員の例に準じて支給することができる。

(会長の専決処分)

第9条 会長は緊急を要するため前条第1項の規程による総会の招集及び前条第6項の規程による意見を徴する時間的余裕がないときは、前条第2項各号に掲げる事項を専決処分することができる。

- 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、次の総会においてこれを報告し、その承認を求めなければならない。

第4章 幹事会

(幹事会)

- 第10条 実行委員会に幹事会を置く。
- 2 幹事会は、幹事長、副幹事長及び幹事(以下「幹事等」という。)をもって構成する。
 - 3 幹事長は、大分県農林水産部長を充てる。
 - 4 副幹事長は、大分県漁業協同組合専務理事及び開催地市町村の水産関係部長を充てる。
 - 5 幹事は、会長が別に指名する者を充てる。

- 6 幹事会は、幹事長が必要に応じて招集し、その議長となる。
7 幹事会は、次に掲げる事項を審議し、議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項に関すること。
(2) その他大会の開催に関し、会長が必要と認める事項に関すること。

- 8 第6条及び第7条の規程は幹事等について、第8条第3項から第6項までの規程は幹事会について、それぞれ準用する。この場合において第6条第1項、第7条第1項から第2項及び第8条第3項から第6項までの規程中「委員等」とあるのは「幹事等」と、第8条第3項から第6項までの規程中「総会」とあるのは「幹事会」と読み替えるものとする。

- 9 前各号に定めるもののほか、幹事会の運営に関し必要な事項は、幹事長が別に定める。

(幹事長及び副幹事長の職務)

第11条 幹事長は、幹事会を代表し、会務を総理する。

- 2 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故があるとき、又は幹事長が欠けたときは、その職務を代理する。

(専門部会)

第12条 幹事会には、専門的な観点から審議を行うため、次に掲げる専門部会を置くことができる。

- (1) 総務・広報専門部会
(2) 式典・放流行事専門部会
(3) 宿泊・輸送・警備専門部会
(4) 前3号に掲げるもののほか、幹事長が必要と認めて設置する専門部会

- 2 専門部会は、幹事長が指名する部会員(以下「部会員」という。)をもって構成する。

- 3 専門部会の部会長は、部会員の中から互選によって決定する。

- 4 専門部会は、部会長が必要に応じて招集し、その議長となる。

- 5 専門部会の部会長は、専門部会で審議した結果について幹事会に報告する。

- 6 第6条及び第7条の規程は、部会員について準用する。この場合において第6条第1項及び第7条第1項から第2項の規程中「委員等」とあるのは「部会員」と、読み替えるものとする。

- 7 前各号に定めるもののほか、専門部会の運営に関し必要な事項は、部会長が別に定める。

(部会長の職務)

第13条 部会長は、専門部会を代表し、会務を総理する。

- 2 部会長に事故があるとき、又は部会長が欠けたときは、部会員の互選によって部会長代理を決定する。

第5章 事務局

(事務局)

第14条 実行委員会の事務を処理するために、大分県農林水産部内に事務局を置く。

- 2 事務局の組織及び運営に関して必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 経費及び会計

(経費)

第15条 実行委員会の経費は、負担金及びその他の収入をもって充てる。

(事業計画、予算及び決算)

第16条 実行委員会の事業計画及び収支予算は、総会の議決により定め、収支決算は、監事の監査を経て、総会の議決を得なければならない。

(会計)

第17条 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日(初年度にあっては、実行委員会の設立の日)に始まり、翌年3月31日に終了する。ただし、次条第1項の規程により解散したときは、この限りでない。

- 2 実行委員会の会計に関し必要な事項は、大分県の財務に関する諸規定に準ずるものとするほか、会長が別に定める。

第7章 解散

(解散)

第18条 実行委員会は、第2条の目的が達成され総会において事業報告及び決算について議決を受けた後に解散する。

- 2 実行委員会が解散するときに有する残余財産は、大分県に帰属するものとする。

第8章 補則

(事故の処理)

第19条 実行委員会は、第3条各号に掲げる事業に起因する事故が生じた場合は、委員等の協力を得てこれを処理しなければならない。

(委任)

第20条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附則

この会則は、令和4年10月3日から施行する。

附則

この会則は、令和5年6月27日から施行する。

[別表]第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会構成員

区分	組織名	職名	
会長	大分県	知事	
副会長	大分県漁業協同組合	代表理事組合長	
	大分市	市長	
	別府市	市長	
委員 (水産団体)	全国合同漁業共済組合大分県事務所	運営委員長	
	全国漁業信用基金協会大分県支所	所長	
	日本漁船保険組合大分県支所	運営委員長	
	全国共済水産業協同組合連合会大分県事務所	所長	
	公益社団法人大分県漁業公社	理事長	
	一般社団法人大分県漁港漁場協会	会長	
	大分県魚市場連合会	会長	
	大分県水産養殖協議会	会長	
	大分県漁業協同組合青年部	部長	
	大分県漁業協同組合女性部	部長	
	大分県漁業士連絡協議会	会長	
	委員 (農林・環境団体)	大分県農業協同組合中央会	代表理事会長
		大分県森林組合連合会	代表理事会長
特定非営利活動法人水辺に遊ぶ会		理事長	
	「美しき OITA」海と川・水への利用促進協議会	会長	
委員 (各種関係団体)	大分県商工会議所連合会	会長	
	大分県商工会連合会	会長	
	大分県中小企業団体中央会	会長	
	大分県経営者協会	会長	
	大分経済同友会	代表幹事	
	公益社団法人ツーリズムおおいた	会長	
	大分県旅館ホテル生活衛生同業組合	理事長	
	大分航空ターミナル株式会社	代表取締役社長	
	九州旅客鉄道株式会社大分支社	支社長	
	一般社団法人大分県バス協会	会長	
	一般社団法人大分県タクシー協会	会長	
	一般社団法人大分県地域婦人団体連合会	会長	
	大分県障害者社会参加推進協議会	会長	
	委員 (県関係機関)	大分県総務部	部長
		大分県生活環境部	部長
大分県商工観光労働部		部長	
大分県農林水産部		部長	
大分県教育委員会		教育長	
大分県東部振興局		局長	
大分県中部振興局		局長	
大分県南部振興局		局長	
大分県北部振興局		局長	

区分	組織名	職名
委員 (沿海市町村)	中津市	市長
	佐伯市	市長
	臼杵市	市長
	津久見市	市長
	豊後高田市	市長
	杵築市	市長
	宇佐市	市長
	国東市	市長
	姫島村	村長
	日出町	町長
	大分県市長会	会長
	大分県町村会	会長
	委員 (警備関係機関)	大分県警察本部
大分海上保安部		部長
監事	大分県	会計管理者
	大分市	会計管理者
	別府市	会計管理者
顧問	大分県議会	議長
	大分県議会農林水産委員会	委員長
	大分市議会	議長
	別府市議会	議長
参与	日本放送協会大分放送局	局長
	株式会社大分放送	代表取締役社長
	株式会社テレビ大分	代表取締役社長
	大分朝日放送株式会社	代表取締役社長
	株式会社エフエム大分	代表取締役社長
	大分ケーブルテレコム株式会社	代表取締役社長
	有限会社大分合同新聞社	代表取締役社長
	株式会社朝日新聞大分総局	総局長
	株式会社毎日新聞大分支局	支局長
	株式会社読売新聞大分支局	支局長
	株式会社西日本新聞大分支局	支局長
	株式会社日本経済新聞大分支局	支局長
	株式会社日刊工業新聞社東九州支局	支局長
	一般社団法人共同通信社大分支局	支局長
	株式会社時事通信社大分支局	支局長

第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会幹事会運営規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会会則(以下「会則」という。)第10条第9項の規程により設置する幹事会の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(組 織)

第2条 幹事は、別表に掲げる職にある者を充てる。

(幹事会)

第3条 幹事長は、必要に応じて会議に幹事以外の者(以下「幹事以外の者」という。)の出席を求めることができる。

(報酬及び旅費)

第4条 幹事以外の者の報酬は、「附属機関の委員等の報酬及び費用弁償条例」(昭和31年大分県条例第74号)第3条第1項に規定する附属機関の委員の受ける報酬の額と同額を支給することができる。

2 幹事以外の者へ支給する旅費は、大分県職員の例に準じて支給することができる。

附 則

この規程は、令和4年12月16日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年5月15日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年6月13日から施行する。

別表(第2条関係)

区 分	組織名	役 職
幹事長	大分県農林水産部	部長
副幹事長	大分県漁業協同組合	専務理事
	大分市農林水産部	部長
	別府市観光・産業部	部長
幹事	大分県市町村合同事務局	事務局長
	公益社団法人大分県漁業公社	専務理事
	大分県商工会議所連合会	専務理事
	大分県商工会連合会	専務理事
	公益社団法人ツーリズムおおいた	専務理事
	大分県旅館ホテル生活衛生同業組合	事務局長
	一般社団法人大分県バス協会	専務理事
	大分海上保安部管理課	課長
	大分海上保安部警備救難課	課長
	大分県警察本部警備部警備運用課	課長
	大分県警察本部交通部交通規制課	課長
	大分県総務部	審議監
	大分県企画振興部	審議監
	大分県福祉保健部	審議監
	大分県生活環境部	審議監
	大分県商工観光労働部	審議監
	大分県農林水産部	審議監
	大分県土木建築部	審議監
	大分県教育委員会教育改革・企画課	課長
	大分県東部振興局農山漁村振興部	部長
	大分県中部振興局農山漁村振興部	部長
	大分県南部振興局農山漁村振興部	部長
	大分県北部振興局農山漁村振興部	部長

第43回全国豊かな海づくり大会大分県実施本部設置要綱

(趣 旨)

第1条 第43回全国豊かな海づくり大会(以下「大会」という。)を円滑に運営するため、「第43回全国豊かな海づくり大会大分県実施本部(以下「実施本部」という。)」を設置する。

(組織及び所掌事務)

第2条 実施本部は、大分県職員及び開催市職員等をもって組織する。
2 実施本部に別表第1に掲げる部及び班を置き、その所掌事務は、同表右欄に掲げるとおりとする。

(職の設置)

第3条 実施本部に本部長、副本部長及び本部員を置く。
2 本部長は大分県知事を、副本部長は大分県副知事、大分市長及び別府市長をもって充てる。
3 本部員は、別表第2に掲げる職にある者をもって充てる。
4 実施本部の運営責任者は、農林水産部審議監(水産担当)をもって充てる。
5 実施本部には部長、班長、班員を置く。
6 本部長は、必要があると認めるときは、前項に規定する職以外の職を置くことができる。

(職 務)

第4条 本部長は、実施本部の事務全体を総理する。
2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるときは、予め指定した副本部長が、その職務を代理する。

3 本部員は、本部長の命を受け、実施本部の運営に参画する。
4 運営責任者は、実施本部の事務を総括する。
5 部長は、部の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
6 班長は、班の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
7 班員は、担当事務を掌理し、事務に従事する。

(庶 務)

第5条 実施本部の庶務は、大分県農林水産部全国豊かな海づくり大会推進室において処理する。

(雑 則)

第6条 この要綱に定めるもののほか、実施本部の組織及び運営に関して必要な事項は、本部長が別に定める。

附 則

1 この要綱は、令和6年6月5日から施行する。
2 この要綱は、令和6年11月10日限り、その効力を失う。

別表第1(第2条関係) 所掌事務

組織名				業務内容
部 名	班 名			
1	総括部	1-1	実施本部運営班	実施本部の総括、大会運営の進行管理 関係機関との連絡調整、報道機関対応、判定会議の運営 他部の事務に属さないこと
		1-2	総務班	県民対応等の窓口、荒天時対応の補助
2	特別接伴部	2-1	SVIP接伴班	SVIPとの連絡調整・受付・接伴
3	作品御覧・ 御懇談部	3-1	総務班	作品御覧・御懇談の総括管理、招待者の名簿管理
		3-2	入場管理班	作品御覧・御懇談招待者の受付・手荷物検査
		3-3	作品御覧運営班	絵画・習字作品御覧の運営進行管理
		3-4	御懇談運営班	御懇談の運営進行管理
		3-5	救護・防災班	救護及び防災対策、医療機関・消防等との連絡調整
4	式典行事部	4-1	総務・招待者管理班	式典行事の総括管理、招待者の名簿管理
		4-2	入場管理班	招待者の入場チェック等
		4-3	会場案内班	会場内の総合案内、招待者の会場内誘導
		4-4	式典行事運営班	式典行事の運営進行管理
		4-5	接遇班	SVIP等の接遇等
		4-6	放流魚御覧運営班	放流魚御覧の運営進行管理
		4-7	お手渡し魚管理班	お手渡し魚の管理
		4-8	おもてなし会場班	おもてなし会場の運営進行管理、招待者の接遇等
		4-9	救護班	救護及び医療機関・消防等との連絡調整
		4-10	会場警備班	会場及び周辺の警備、防災対策

5	海上歓迎・放流行事部	5-1	総務・招待者管理班	海上歓迎・放流行事の総括管理、招待者の名簿管理
		5-2	会場案内班	会場内の総合案内、招待者の会場内誘導
		5-3	海上歓迎行事運営班	海上歓迎行事の運営進行管理
		5-4	放流行事運営班	放流行事の運営進行管理
		5-5	接遇班	SVIP等の接遇等
		5-6	おもてなし会場班	おもてなし会場の運営進行管理、招待者の接遇等
		5-7	救護班	救護及び医療機関・消防等との連絡調整
		5-8	会場警備班	会場及び周辺の警備、防災対策
6	宿泊・輸送部	6-1	式典行事輸送班	式典会場の招待者に係る受付、駐車場、輸送、弁当提供等
		6-2	海上歓迎・放流行事輸送班	海上歓迎・放流会場の招待者に係る受付、駐車場、輸送、弁当提供等
7	関連行事部 (大分会場)	7-1	運営本部	会場内の総括管理
		7-2	総務・会場案内班	総合案内、救護所運営等
		7-3	ステージ班	ステージエリアの運営
		7-4	駅前北口班	大分駅北口駅前広場の運営
		7-5	祝祭の広場班	祝祭の広場の運営
		7-6	つかみ取り班	魚のつかみ取りイベント運営
		7-7	連携企画班	近隣イベント「おおいたマルシェ」との連携企画の運営
		7-8	駐車場班	関係者等駐車場の管理運営
8	関連行事部 (佐伯会場)	8-1	同時放流班	同時放流に係る運営進行や放流魚の管理等
9	関連行事部 (中津会場)	9-1	映像中継管理班	会場内での式典行事等の映像中継に関する管理

別表第2(第3条関係) 本部長

大分県総務部長
大分県企画振興部長
大分県福祉保健部長
大分県生活環境部長
大分県商工観光労働部長
大分県農林水産部長
大分県土木建築部長
大分県会計管理局长
大分県議会事務局长
大分県教育委員会教育長
大分市副市長
別府市副市長

「第43回全国豊かな海づくり大会」会場運営管理要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、令和6年11月9日・10日開催の「第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～」(以下「海づくり大会」という)の円滑な運営と秩序の保持を図るため、海づくり大会会場(以下「会場」という)における運営管理に係る必要な事項を定めるものとする。

(運営管理者)

第2条 会場の運営管理者(以下「管理者」という)は、第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会(以下「実行委員会」という)会長とする。

2 管理者の権限に属する業務の処理は、大会実施本部員の職員(以下「職員」という)が行う。

(適用範囲)

第3条 この要綱において適用する会場及びその区域は次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 式典行事会場：iichiko総合文化センター iichiko グランシアタ及びその周辺のうち、管理者が指定する区域
- (2) 海上歓迎・放流行事会場：別府港第4埠頭及びその周辺のうち、管理者が指定する区域
- (3) 絵画・習字作品御覧及び御懇談会場となる施設及び管理者が指定する区域

(持ち込み禁止物件)

第4条 何人も、会場に次の各号に掲げる物件を持ち込んで서는ならない。該当物については、持込禁止物預かり所にて一時預かることとする。ただし、管理者が特に認めるときは、この限りでない。

- (1) 凶器
- (2) 模造刀、玩具銃、護身用具、棒状の物(介護用具を除く)等凶器となり得る物
- (3) 毒物、劇物、爆発物、火薬類、油類、火気(ライターを含む)、薬品類(医薬品を除く)、工具類その他の危険物
- (4) カッターナイフ、ハサミ等の刃物類
- (5) 水筒、瓶類、缶類(スプレー缶を含む)及びペットボトル類
- (6) 旅行鞆、手提げ鞆等の荷物類
- (7) 傘類
- (8) 動物類(身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条に規定する身体障害者補助犬を除く)
- (9) 酒類
- (10) ワイヤレスマイク、ドローン、ラジコン機器(航空機、自動車、船舶等)等電波を送受信する機器、無線通信機器(携帯電話、スマートフォン等の携帯端末(以下「携帯電話等」という。))を除く)
- (11) 拡声器、オーディオ機器、ポータブルゲーム機、楽器、サーチライト、レーザーポインター、反射鏡等、音又は光を発するもので、使用方法により他の入場者や海づくり大会の運営に迷惑となるおそれのある物
- (12) カメラ、ビデオカメラ、三脚等の撮影機器
- (13) 前各号に定めるもののほか、海づくり大会の円滑な運営と秩序の保持を妨げ、又は妨げるおそれのある物

(禁止行為)

第5条 何人も、会場及びその周辺において、次の各号に掲げる行為を行ってはならない。ただし、管理者が特に認めた場合は、この限りでない。

- (1) 招待状又は来場者識別証を携帯せずに会場内へ入場すること。
- (2) 許可を受けずに撮影を行うこと(携帯電話等に付属された機能を用いて撮影する場合を含む)。
- (3) 立入を制限し、又は禁止された区域に正当な理由なく立ち入ること。
- (4) ドローン等の飛行物体、ラジコン機器(航空機、自動車、船舶等)を侵入等させること。
- (5) 酒気を帯びて会場内へ入場すること。
- (6) 通行の妨害となる行為をすること。
- (7) 威嚇又は喧嘩にわたる行為を行うこと。
- (8) 会場内の施設、工作物、器物、装置等を汚損、若しくは破損し、又はみだりに操作すること。
- (9) 関係者に面会を強要すること又は会場内に居座ること。
- (10) 所定の区域以外において火気を使用(喫煙を含む)又はゴミその他の汚物を廃棄すること。
- (11) 所定の区域以外への車両若しくは船舶等の進入、駐車、停泊又は駐輪をすること。
- (12) 抗議集会、デモ等会場秩序を乱すおそれのある行為をすること。
- (13) 前各号に定めるもののほか、会場の秩序を乱し、海づくり大会の円滑な運営及び進行を妨害するような行為をすること。

(許可を要する行為)

第6条 会場及びその周辺において、次の各号に掲げる行為をしようとする者は、あらかじめ管理者の許可を受けなければならない。ただし、管理者が特に認めた場合はこの限りでない。

- (1) 文書、図面、写真、図書その他の印刷物等を掲示し、頒布又は散布すること。
- (2) 掲示板、立看板、横断幕、懸垂幕、旗、のぼり、アドバルーン、風船、ゼッケン、プラカード等を持ち込み、掲示、掲揚又は着用すること。
- (3) ガスその他これに類似する火気を使用すること。
- (4) 宣伝、勧誘、講演、集会、物品の販売又は寄付の募集その他これらに類する行為をすること。
- (5) テント、小屋その他の工作物を設置すること。

2 管理者は、前項の許可をする場合において、必要な条件を付すことができる。

(遵守事項)

第7条 何人も、会場において次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。ただし、管理者が特に認めた場合はこの限りでない。

- (1) 安全確保のため、手荷物等の検査に応じるとともに、持ち込み禁止物件など携行できない物件は管理者に預けること。
- (2) 管理者が交付した来場者識別証を外部から視認できる

ように携行するとともに、破損、亡失等の場合は、速やかに職員に申し出て指示を受けること。

- (3) 招待状及び本人確認書類(運転免許証、パスポート、個人番号カード等)を携帯し、会場の警備を行う者が本人確認書類の提示を求めた場合にはこれに応じること。
- (4) 携帯品は管理者が交付した透明袋に入れて携行すること。
- (5) 職員の指示、案内、誘導等に従うこと。
- (6) 指定された場所において観覧すること。ただし、職員等が移動を指示した場合はこれに従うこと。
- (7) 携帯電話等の電源を切るか、マナーモードに設定すること。
- (8) ゴミ処理方法の遵守及び清潔維持に努めること。
- (9) 各自が火災、盗難その他の事故防止に努めること。
- (10) 感染予防対策について、主催者又は管理者等から特別の要請を出す場合には、これに従うこと。

(質問等)

第8条 管理者が必要と認める場合は、来場者等に対して質問をし、本人確認書類の提示を求め、又は必要な事項を指示することができる。

(入場の制限)

第9条 管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、会場への入場の拒否、行為の中止、会場からの退場、その者の負担による持ち物の撤去及びその他必要と認められる措置を命じ、又は管理者の許可なく侵入、放置等された物件に対し必要な措置を講じることができる。

- (1) 第4条の各号に掲げる禁止物件を持ち込んだ者若しくは持ち込もうとする者、又は当該物件
- (2) 第5条の各号に掲げる行為を行った者若しくは行うおそれのある者、又は当該物件
- (3) 許可なく第6条第1項の各号に掲げる行為を行った者若しくは行うおそれのある者、又は当該物件
- (4) 正当な理由なく、第7条の各号に掲げる事項を遵守しない者

(警備要請)

第10条 管理者は、大分県警察本部長及び第七管区海上保安本部長に対し、事前に警備要請を行うものとし、必要があると認める場合、職員は会場に配置されている警察官及び海上保安官に協力を求めることができる。

(告知)

第11条 管理者は、第4条から第9条までの内容について、会場に告知板を設置する方法等により、告知するものとする。

(雑則)

第12条 この要綱に定めるもののほか、会場の運営管理に関し必要な事項は、管理者が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、令和6年3月27日から施行する。

- 2 この要綱の適用期間は、令和6年11月9日から同月10日までとする。

第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会事務局運営規程

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規程は、第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会会則第14条第2項の規定に基づき、第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会事務局（以下「事務局」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

第2章 事務局

(設置)

第2条 事務局は、大分県農林水産部全国豊かな海づくり大会推進室内に置く。

(業務)

第3条 事務局は、第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会（以下「実行委員会」という。）に関する事務を処理する。

(組織)

第4条 事務局の組織は、別表第1のとおりとする。

(職員)

第5条 事務局には次の職員を置く。

- (1) 事務局長
- (2) 事務局次長
- (3) 事務局員

2 前項の職員は、別表第2に掲げる大分県職員をもって充てる。

3 事務局長は、第1項に定める職員のほか、特に必要があると認めるときは、会計年度任用職員等を置くことができる。

(職務)

第6条 事務局長は、第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会会長（以下「会長」という。）の命を受け、事務局の事務を統括し、第5条第1項に掲げる職員（以下「事務局職員」という。）を指揮監督する。

2 事務局次長は、事務局長を補佐し、事務局の事務を掌理するとともに、事務局長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

3 事務局員は、上司の命を受け、担当の事務に従事する。

第3章 事務の決裁

(専決)

第7条 事務局長、事務局次長は、別表第3に掲げる事項について専決することができる。

2 前項の規定にかかわらず、その内容により専決することが適当であると認められるものについては、前項の規定に準じて専決することができる。

(代決)

第8条 事務局長の専決事項について、事務局長が不在のときは、事務局次長が代決することができる。

2 前項の規程にかかわらず、重要又は異例に属すると認められるものについては、代決することができない。ただし、事務局長があらかじめ処理の方針を示したものについては、この限りではない。

3 事務局次長は、第1項及び第2項の規定により代決した事項について、事後速やかに事務局長へ報告しなければならない。ただし、定例または軽易なものについては、この限りではない。

第4章 文書

(文書の管理)

第9条 実行委員会の文書の管理については、別に定める。

第5章 公印

(公印)

第10条 事務局で使用する公印の名称、寸法、ひな型及び書体は別表第4のとおりとする。

2 前項に定める公印の管守者は、事務局長とする。

3 この章に定めるもののほか、公印の取扱いに関しては、大分県公印規程（昭和52年大分県訓令第6号）を準用する。

第6章 服務及び旅費

(服務)

第11条 事務局職員にかかる服務については、大分県職員服務規程（昭和31年大分県訓令第11号）の例による。

(旅費)

第12条 事務局職員が実行委員会の用務のために行う旅行に関する旅費の額及びその支給方法については、職員等の旅費に関する条例（昭和26年大分県条例第28号）の例による。

2 事務局職員以外の者へ、実行委員会業務のために旅行を依頼したときは、費用弁償として、実行委員会から旅費を支給することができる。

3 前項の規定による旅費の額は、大分県職員の例による。

第7章 財務及び会計

(財務及び会計)

第13条 実行委員会の財務及び会計については、別に定める。

第8章 補則

(補則)

第14条 この規程に定めるもののほか、事務局の運営に関し必要な事項は、事務局長が別に定める。

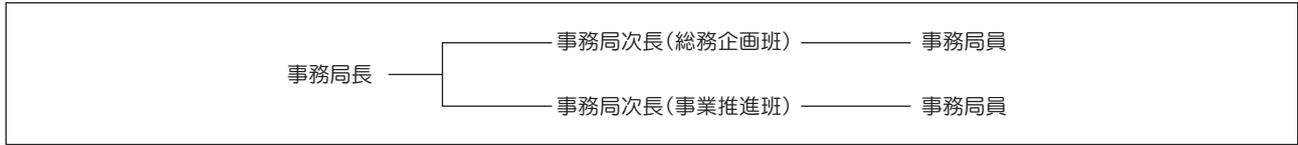
附則

この規程は、第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会設立の日から施行する。

附則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

別表第1 (第4条関係)



別表第2 (第5条関係)

事務局職名	大分県職員としての職名
事務局長	農林水産部全国豊かな海づくり大会推進室室長
事務局次長	農林水産部全国豊かな海づくり大会推進室総務企画班総括 農林水産部全国豊かな海づくり大会推進室事業推進班総括
事務局員	農林水産部全国豊かな海づくり大会推進室職員

別表第3 (第7条関係)

区分	専決事項
事務局長	1 実行委員会の収入及び支出に関すること 2 予備費の使用に関すること 3 諸規程の制定及び改廃に関すること 4 入札の執行に関すること 5 文書の管理に関すること 6 物品の管理に関すること 7 金銭の保管に関すること 8 重要な照会、依頼、回答、通知、報告、諮問、進達、副申、申請等に関すること 9 その他重要な事務に関すること
事務局次長	1 事務局長の専決事項のうち、簡易又は定例的な事項に関すること 2 その他重要な事務以外の事務に関すること

別表第4 (第10条関係)

名称	寸法	ひな型	書体
第43回全国豊かな海づくり大会 大分県実行委員会会長印	方30		てん書体
第43回全国豊かな海づくり大会 大分県実行委員会事務局局長印	方27		てん書体

事務局員名簿

職名	氏名	大分県職員としての所属・職名
事務局長	高田 淳史	全国豊かな海づくり大会推進室 室長
事務局次長	上田 修作	全国豊かな海づくり大会推進室 総務企画班 主幹(総括)
	安楽 康宏	全国豊かな海づくり大会推進室 事業推進班 室長補佐(総括)
事務局員	松田 康平	全国豊かな海づくり大会推進室 総務企画班 主査
	三代 和樹	全国豊かな海づくり大会推進室 総務企画班 主査
	合田 凜太郎	全国豊かな海づくり大会推進室 総務企画班 主任
	倉永 大暉	全国豊かな海づくり大会推進室 総務企画班 主事
	高倉 樺梨	全国豊かな海づくり大会推進室 総務企画班 主事
	北崎 寛崇	全国豊かな海づくり大会推進室 事業推進班 副主幹
	安部 洋平	全国豊かな海づくり大会推進室 事業推進班 主任
	矢野 祐志	全国豊かな海づくり大会推進室 事業推進班 主任
	甲斐 桑梓	全国豊かな海づくり大会推進室 事業推進班 主任
	西 陽平	全国豊かな海づくり大会推進室 事業推進班 技師
	後藤 直登	全国豊かな海づくり大会推進室 事業推進班 技師

謝 辞

大会の開催にあたり、本誌でご紹介できなかった団体等を含め、多くの皆様にご協力をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



第43回全国豊かな海づくり大会 大分県実行委員会

発 行：令和7年3月

編 集：第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会事務局

(大分県農林水産部全国豊かな海づくり大会推進室内)

〒870-8501 大分市大手町3-1-1

※掲載写真、掲載記事の無断転載及び複製を禁じます。



おあいた

おんせん県おいた大会ロゴマーク

第43回全国豊かな海づくり大会
大分県実行委員会